

2021年3月期第2四半期決算 説明会資料 本編

代表取締役社長 最高経営責任者
石田 建昭

2020年11月27日

目 次

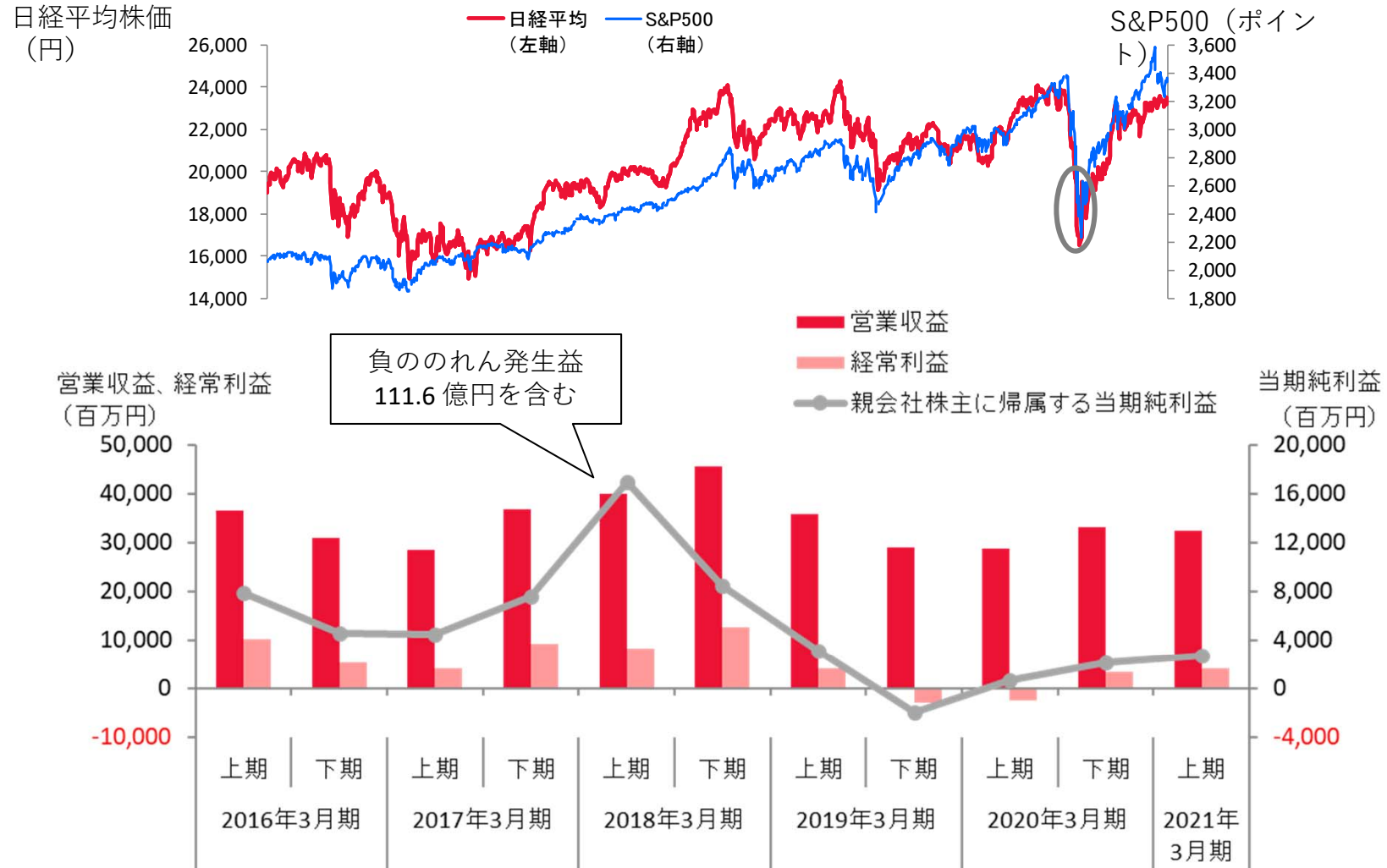
I. 業績概要	2
II. 収益構造の変化と重点プロジェクトの進捗	17
III. 未来戦略の推進	29

I. 業績概要

I. 業績概要

1. 業績推移

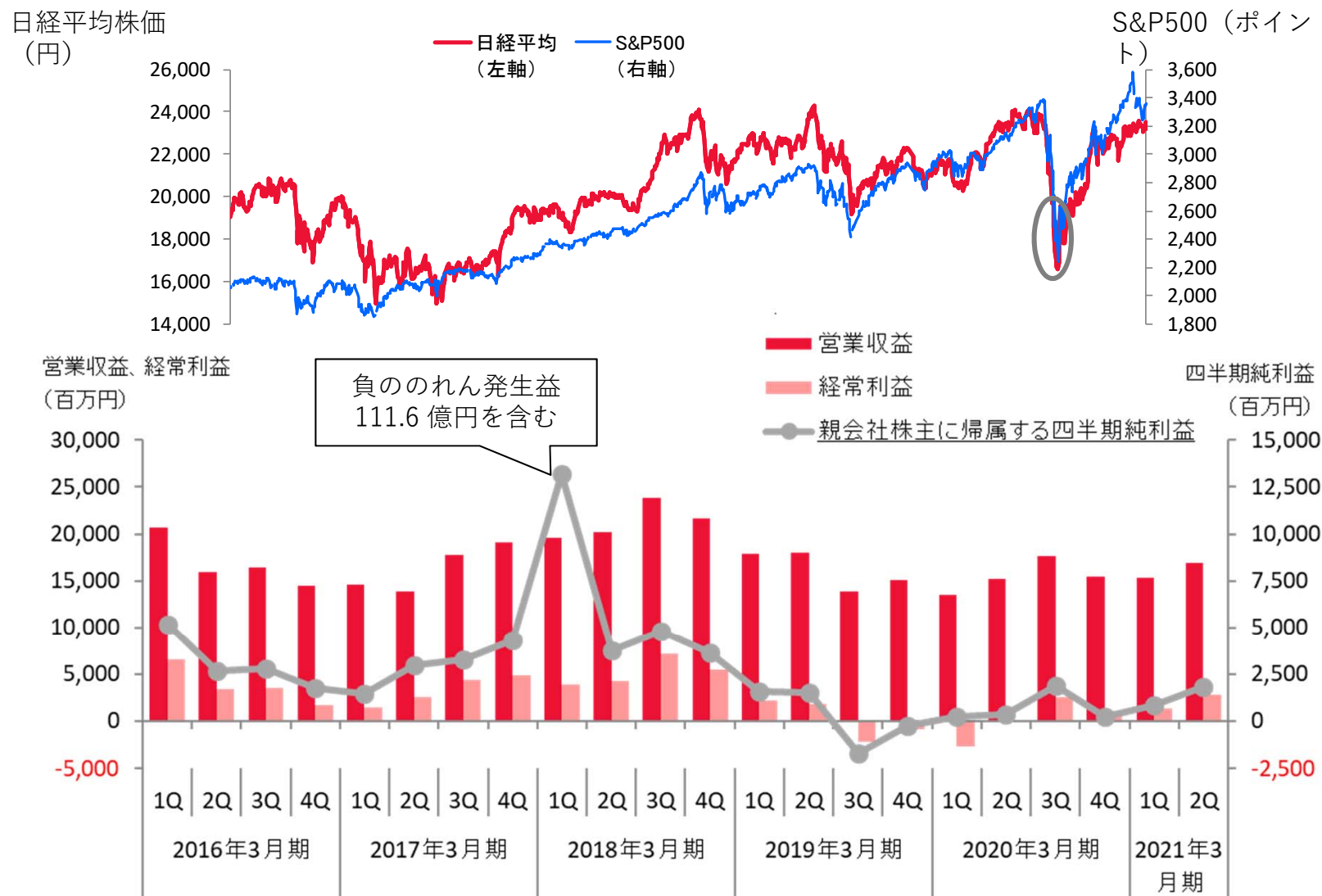
《(連結)半期ごと業績推移》



I. 業績概要

1. 業績推移

《(連結)四半期ごと業績推移》

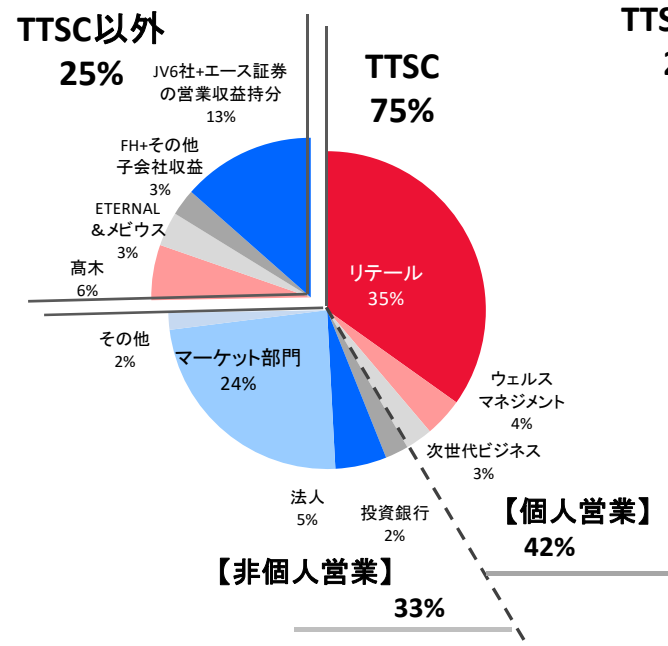


I. 業績概要

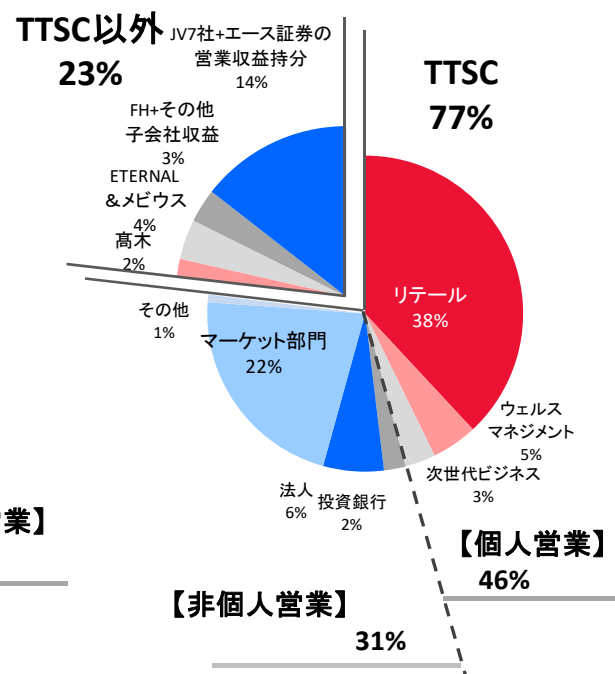
2. ビジネスの特徴と財務状況

《比例合算による営業収益イメージ》

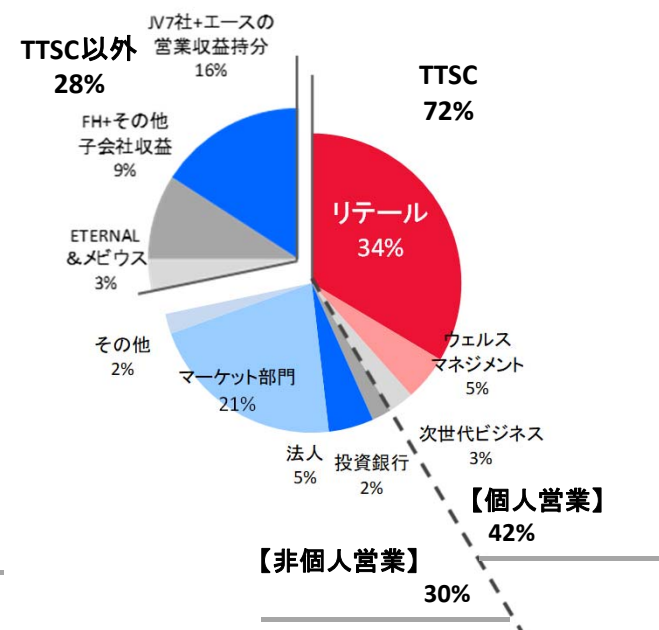
＜2019年3月期(通期)＞
連結営業収益64,772百万円＞



＜2020年3月期(通期)＞
連結営業収益61,694百万円＞



＜2021年3月期(上期)＞
2Q連結営業収益32,298百万円＞



※ 持分法適用会社(提携合併証券およびエース証券)の収益を持分比率により合算することで、2019年3月期、2020年3月期および2021年3月期2Qにおける当社グループ損益の源泉のイメージを提示するものであり、企業会計上の連結損益計算書とは異なります。

I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

《グループ各社別損益推移》

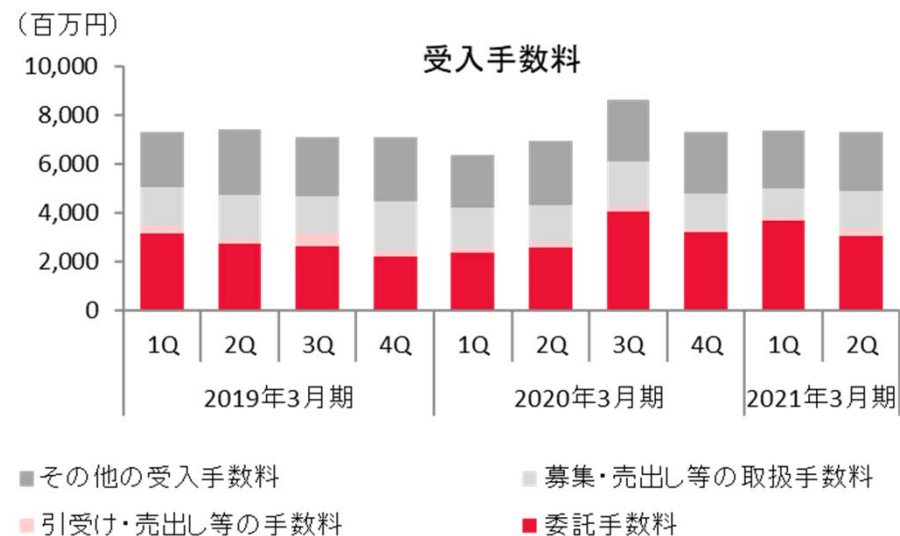
各社の損益状況 (百万円)	2019年3月期					2020年3月期						2021年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1年計	1Q	2Q	3Q	4Q	(うち3月)	1年計	1Q	2Q
東海東京証券	1,598	1,650	-1,230	-1,012	1,005	-1,911	187	1,841	595	-390	713	-359	1,504
提携合併証券(JV)	263	143	-36	-123	246	-33	-54	178	41	-125	131	41	320
東海東京グローバル・インベストメンツ(TTGI)	86	108	-617	344	-79	25	168	382	-395	-398	180	1,037	641
高木証券	-117	-270	-545	-498	-1,430	-497	-397	-	-	-	-894	-	-
保険(ETERNAL、メビウス)	-94	12	-24	118	12	-0	71	64	139	21	274	12	233
M&A(ピナクル)	-28	-71	104	-86	-82	-5	36	-66	-59	-11	-94	360	-61
その他	430	275	135	418	1,260	-245	122	126	386	378	390	192	105
連結経常損益 計	2,138	1,847	-2,213	-839	932	-2,666	133	2,525	707	-525	700	1,283	2,742

I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

《（連結）受入手数料》

	2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
委託手数料	3,157	2,737	2,628	2,205	2,371	2,597	4,041	3,229	3,679	3,044
引受け・売出し等の手数料	299	218	512	217	231	201	202	67	151	329
募集・売出し等の取扱手数料	1,595	1,794	1,527	2,033	1,624	1,521	1,870	1,502	1,182	1,534
その他の受入手数料	2,278	2,654	2,447	2,645	2,126	2,602	2,494	2,486	2,331	2,418
受入手数料計	7,330	7,405	7,116	7,102	6,352	6,922	8,609	7,287	7,344	7,327



I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

《（連結）その他受入手数料（半期毎）》

(百万円)	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年 3月期
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
受益証券(投信代行手数料)	2,198	2,324	2,342	2,214	2,077	1,920	1,715
ラップ口座残高報酬	516	398	285	224	166	174	175
保険手数料	1,096	1,625	1,478	1,762	1,513	1,650	1,455
コンサルティング手数料(M&A等)	152	587	283	547	447	537	712
その他	371	565	545	343	524	697	690
その他の受入手数料計	4,335	5,501	4,933	5,092	4,728	4,981	4,750

(ご参考)金融収益に含む
証券担保ローン受取利息

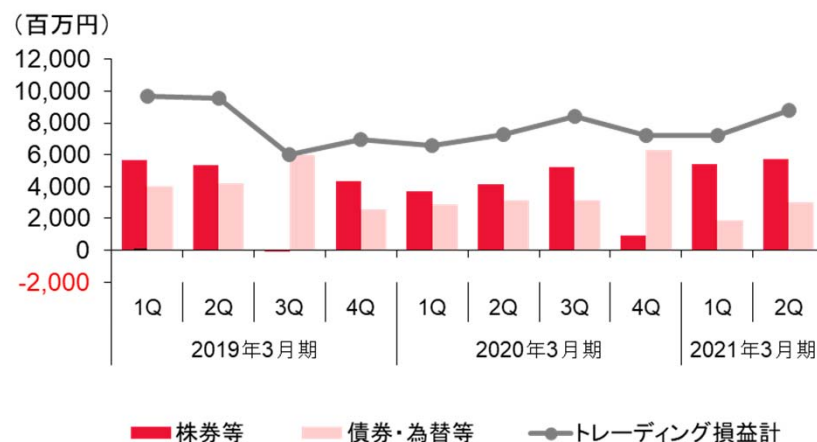
証券担保ローン残高と収益 (百万円)	2020年3月期		2021年 3月期
	上期	下期	上期
短期貸付金(残高)	406	2,798	6,047
受取利息(収益)	2	15	28

I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

《（連結）トレーディング損益》～エクイティスワップ損益を、「株式等」へ組み替え

	2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
株券等	6,208	5,599	1,871	3,669	3,816	3,836	4,878	3,489	4,375	5,190
国内株式・エクイティSW	112	327	442	-102	148	88	458	1,024	39	601
外国株式	5,716	4,714	2,010	3,451	3,629	3,478	3,705	3,320	2,662	4,024
その他（ファンド等）	380	558	-581	320	38	269	713	-855	1,672	565
債券・為替等	3,465	3,983	4,112	3,266	2,747	3,469	3,521	3,749	2,858	3,587
国債	551	1,517	-834	62	-399	86	156	632	467	341
公社債	255	-33	916	589	487	495	227	270	366	431
外国債券・為替・デリバティブ	2,657	2,498	4,029	2,615	2,659	2,888	3,138	2,846	2,023	2,815
トレーディング損益計	9,674	9,583	5,983	6,938	6,564	7,306	8,400	7,239	7,234	8,778



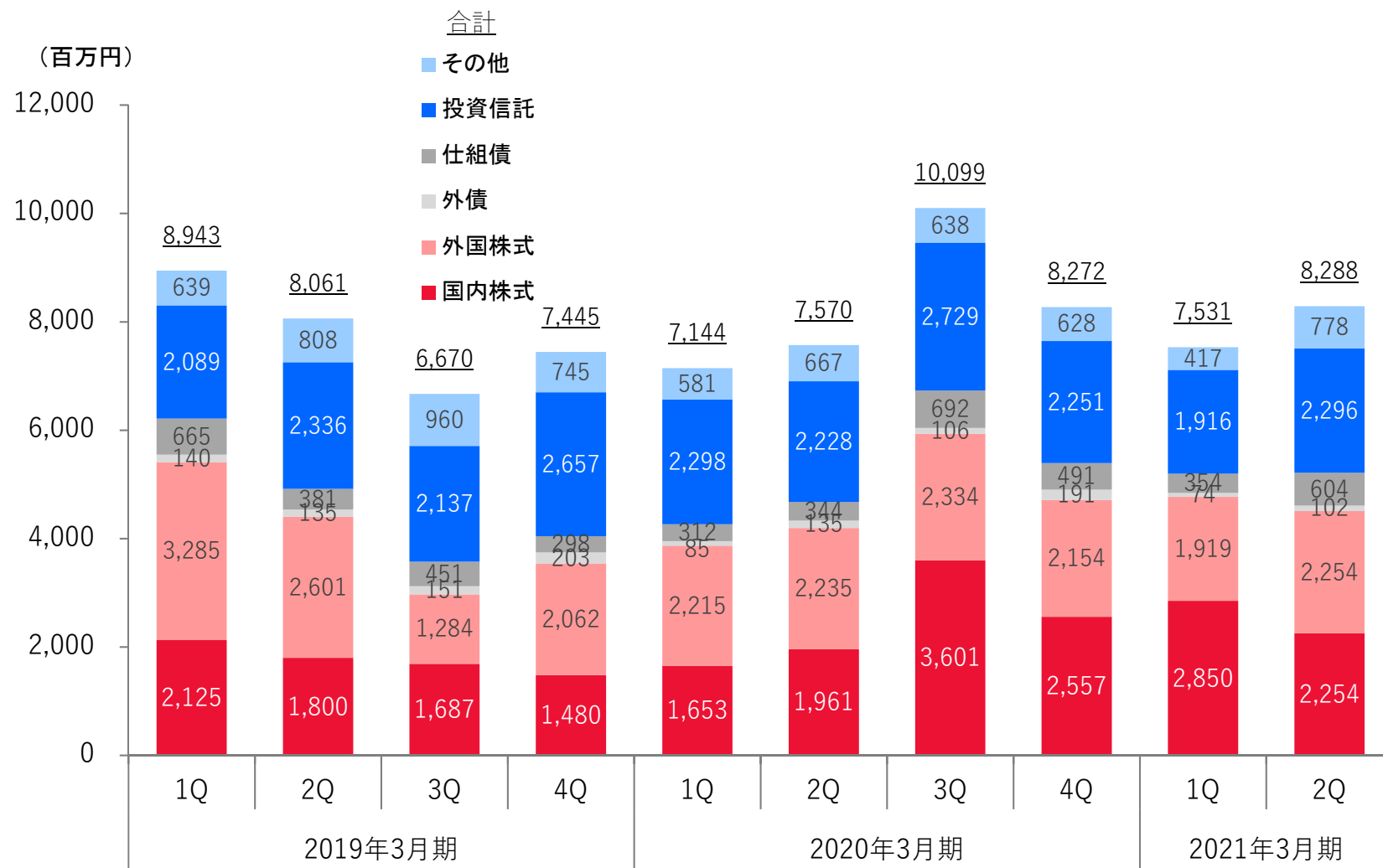
※ 2020年3月期第1四半期より、「金融収益」および「トレーディング損益」の表示方法の変更を行っており、2019年3月期の各四半期の数値についても、同変更内容（当社発行社債の内包デリバティブ損益の計上の変更）を反映させております。

I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

《(東海東京証券)個人営業 商品別収益》

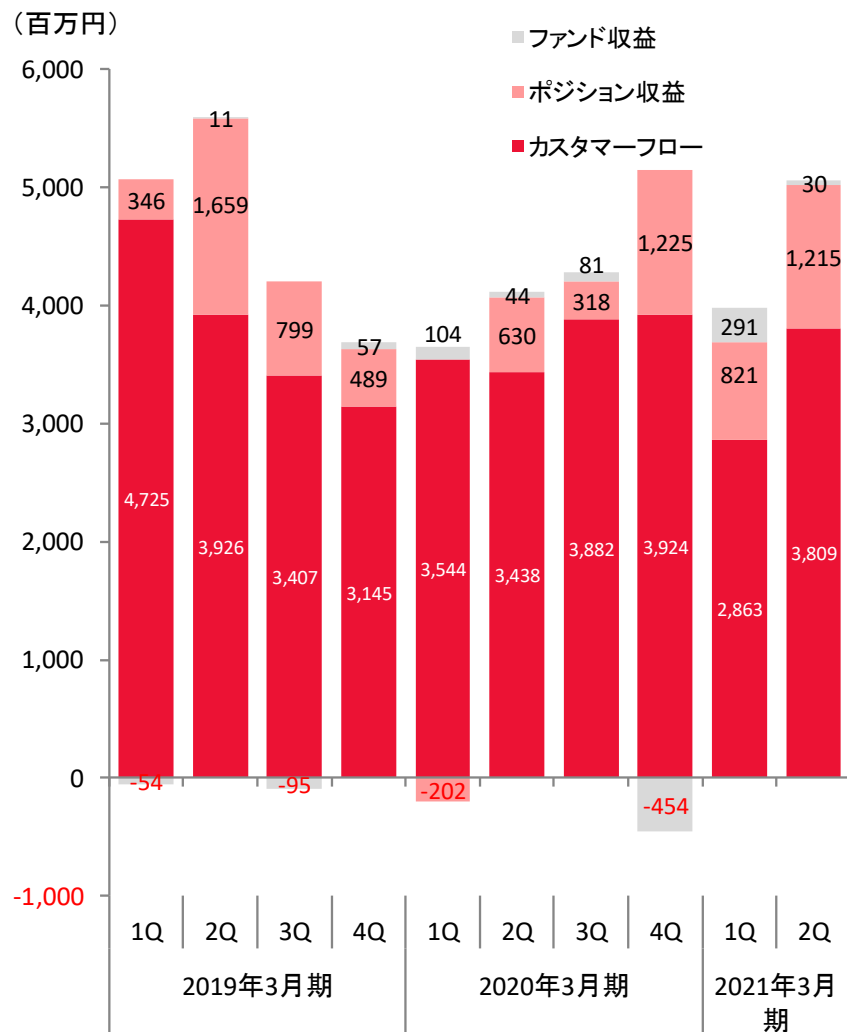
～「個人営業」は、ウェルスマネジメント、リテール、次世代ビジネス、IFAの合計として計上



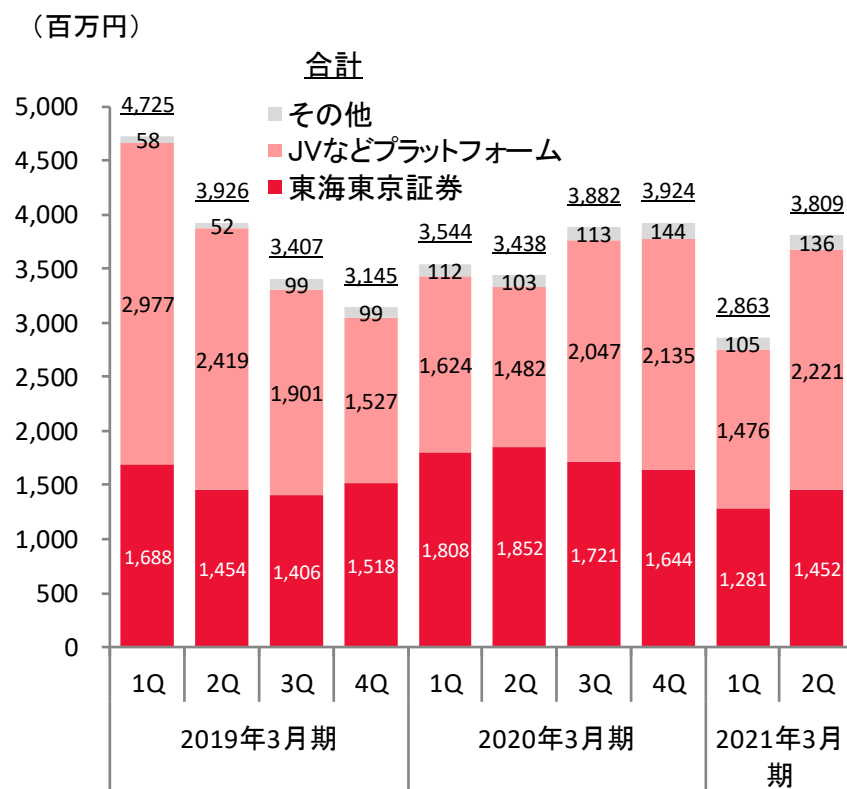
I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

《(東海東京証券)マーケット部門 収益構成》 カテゴリー別収益



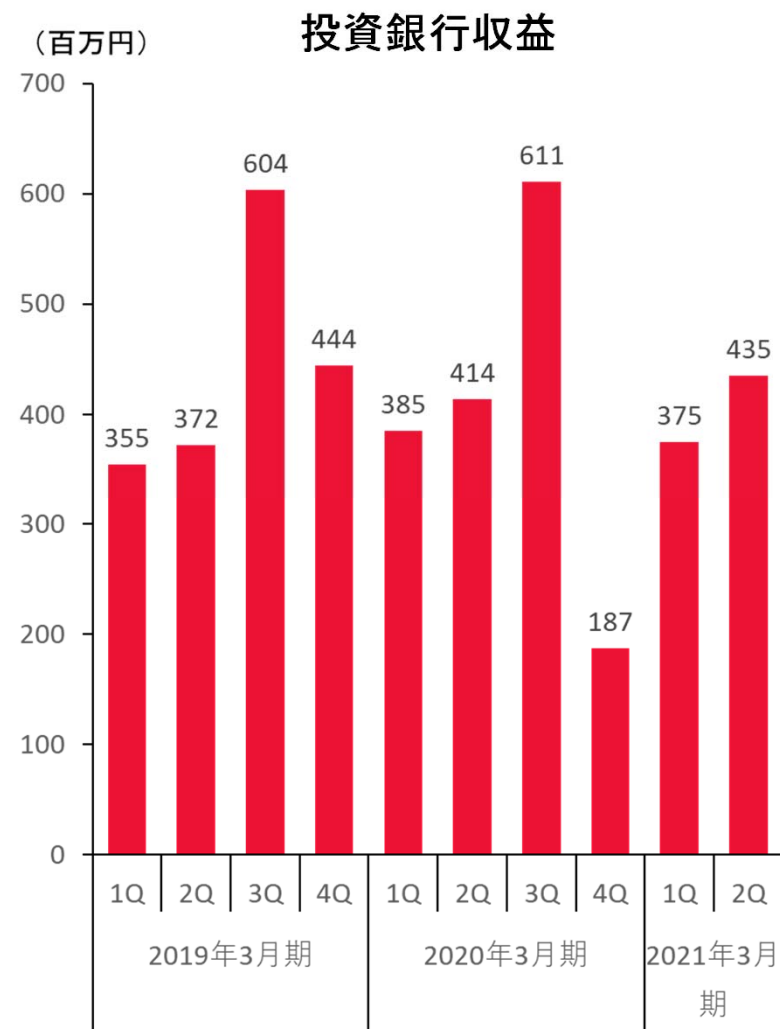
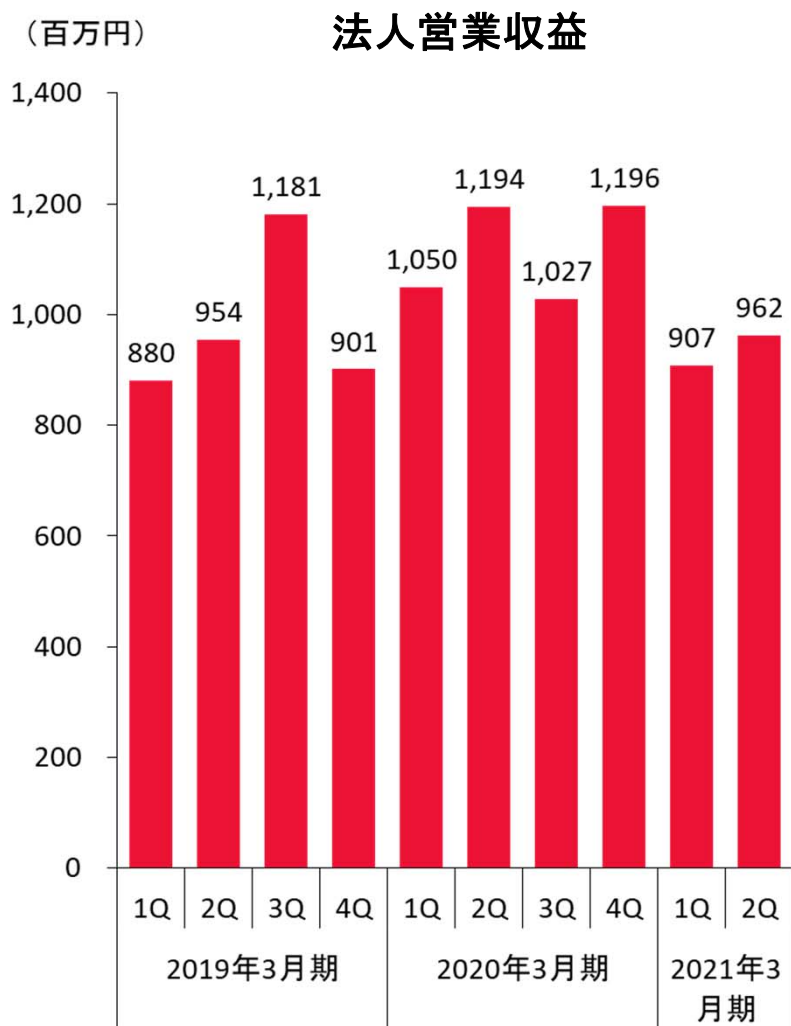
顧客別フロー収益



I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

《（東海東京証券）法人ビジネス収益の推移》



I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

《（連結）販売費及び一般管理費》 ～以下、前Q比にて記載

- ① 人件費…………… 業績回復に伴う連動型賞与の増加が主因
- ② 不動産関係費… 横這い（ご参考）4Qにおける減少は海外現法におけるリース会計基準の変更により、不動産賃料が「減価償却費」への振替（1年分134百万円）となった要因
- ③ 事務費…………… 事務内製化及び委託料率引下げにより削減（東海東京証券と高木証券の合併によるシステム委託費削減効果の定着も寄与）
- ④ 減価償却費…… 日本橋オフィス（含むオルクドール・サロン東京）に係る減価償却の進行により、漸減

	2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
取引関係費	3,183	2,962	3,020	2,785	2,867	2,709	2,955	2,853	2,147	2,546
人件費	7,422	7,600	7,227	7,293	7,412	6,728	6,873	6,814	6,590	6,810
不動産関係費	1,766	1,933	1,989	2,156	2,089	1,814	1,903	1,775	1,818	1,800
事務費	1,945	2,016	1,980	2,051	1,883	2,047	1,879	1,705	1,655	1,598
減価償却費	532	540	584	664	715	773	801	936	772	743
うちソフトウェア関連費	171	177	180	191	195	206	222	215	211	231
うち高木証券関連	4	10	14	15	19	33	-	-	-	-
その他	915	829	712	831	908	764	634	744	697	801
販売費・一般管理費計	15,765	15,882	15,514	15,782	15,875	14,837	15,048	14,830	13,681	14,299

I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

《（連結）出資先の状況》

	(百万円)	2019年3月期					2020年3月期					2021年3月期	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1年計	1Q	2Q	3Q	4Q	1年計	1Q	2Q
FinTech ^{※1}		-	-149	-180	-187	-517	-129	-135	-147	-135	-548	-165	-124
保険 ^{※2}		-94	12	-24	118	12	-0	82	64	140	286	12	233
M&Aコンサルティング ^{※3}		-28	-71	104	-86	-82	-5	36	-66	-58	-94	360	-61

※1 お金のデザイン、Hash Dash Holdings の持分法投資損益 およびのれん償却額を合計

※2 ETERNAL、メビウスの経常損益を合計

※3 ピナクル、ピナクルTTソリューションの経常損益を合計

(2021年3月期1Qは大口案件成約)

(ご参考)お金のデザインにおける預り資産推移

		(出資時)				(百万円)
		2018年6月	2019年3月	2020年3月	2020年10月	
預り資産計		27,156	39,557	68,479	90,078	
	THEO、THEO+	26,694	38,241	60,154	73,294	
	投資信託	462	1,316	8,325	16,784	

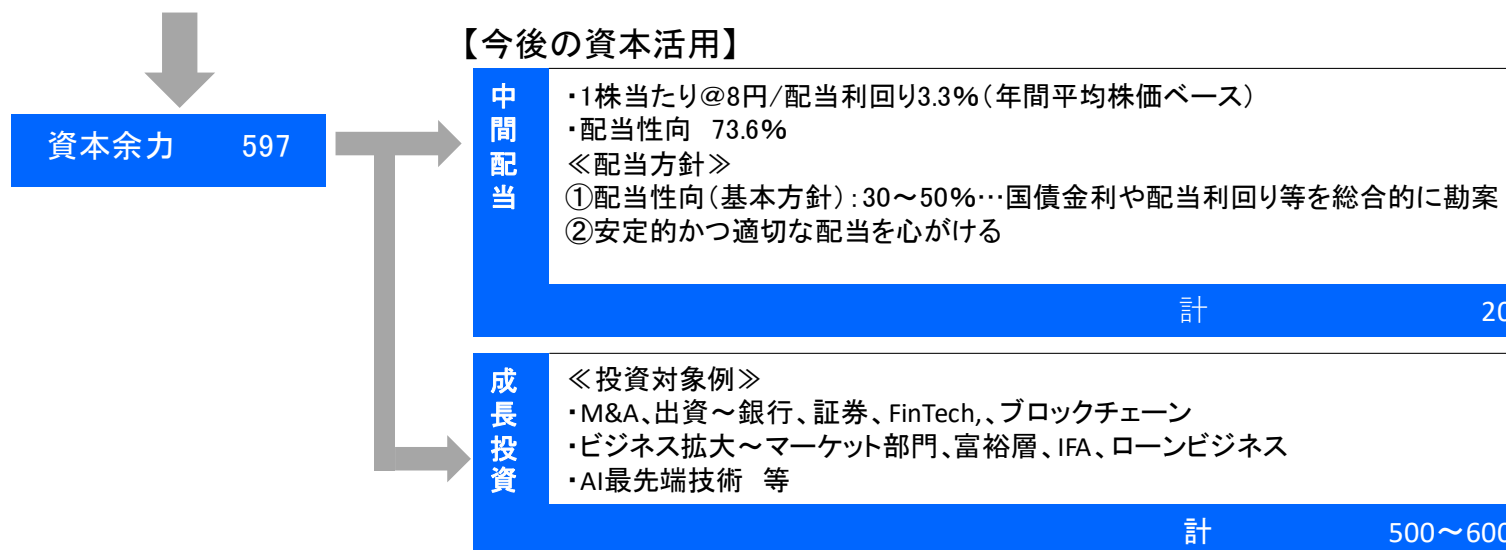
I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

【グループ資本状況(2020年9月末)】

(単位:億円)

連結純資産 1,638	活用中の 資本 1,041	中核証券事業	中核証券機能を展開するための資本配賦	816
			グループ事業機能子会社への資本配賦	43
			持分法適用会社への資本配賦	132
			計	991
		新機能	スマホアプリ、スマホ証券、STOビジネス等	本格展開後（想定）50



I. 業績概要

4. TTFG業績の総括



II. 収益構造の変化と重点プロジェクトの進捗

II. 収益構造の変化と重点プロジェクトの進捗

リテール分野の新戦略

富裕層ビジネスの
推進

マーケット部門
30億円プロジェクト

地方銀行との
提携合弁証券ビジネス

コスト効率向上
生産性向上

次世代向け開発案件
(フィンテック案件)

SDGsへの取り組み

II. 収益構造の変化と重点プロジェクトの進捗

1. リテールセグメント別戦略

《顧客セグメント別アプローチの効果》

預かり資産	稼働状況	2020/9末 口座数	口座数増減率 2019/9末 → 2020/9末	稼働口座増減率 2020/3上期 → 2019/10 ~ 2020/9(平均)	収益増減率 2020/3上期 → 2019/10 ~ 2020/9(平均)
A 1千万円以上	稼働	11.2千	+ 5.9%	▲ 18.7%	+ 0.3%
B 1千万円以上	未稼働	29.3千	+ 5.5%	+ 43.3%	+ 86.6%
C 1千万円未満	稼働	3.8千	▲ 31.1%	▲ 37.0%	▲ 27.3%
D 1千万円未満	未稼働	96.6千	+ 17.1%	+ 22.1%	+ 85.7%
A~Dセグメント総収入					+ 8.2%

2020年9月末口座数

141千口座

2020年上期稼働口座数

54千口座

2020年上期総収入

127億円

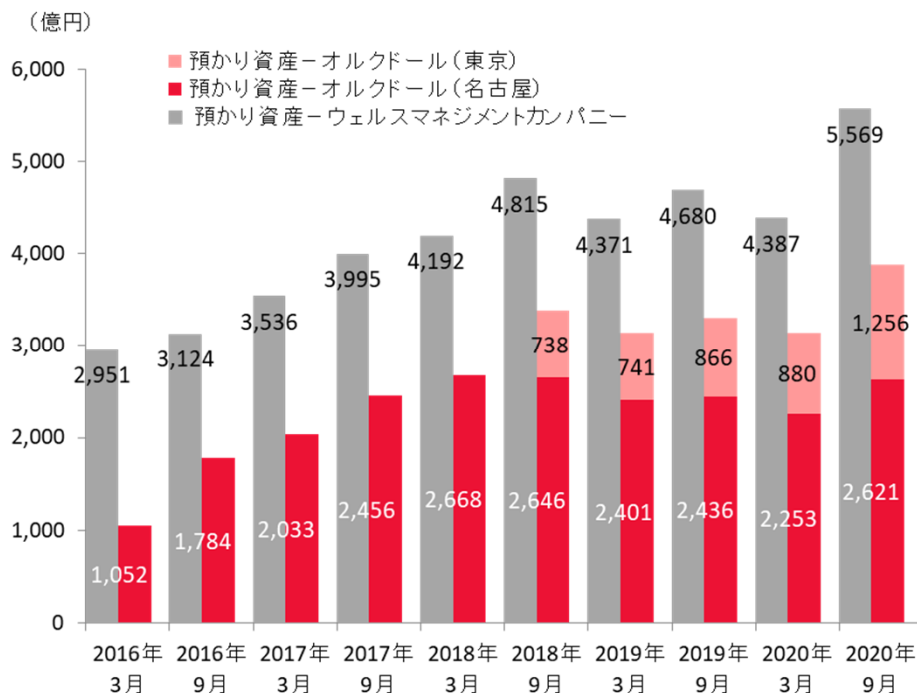
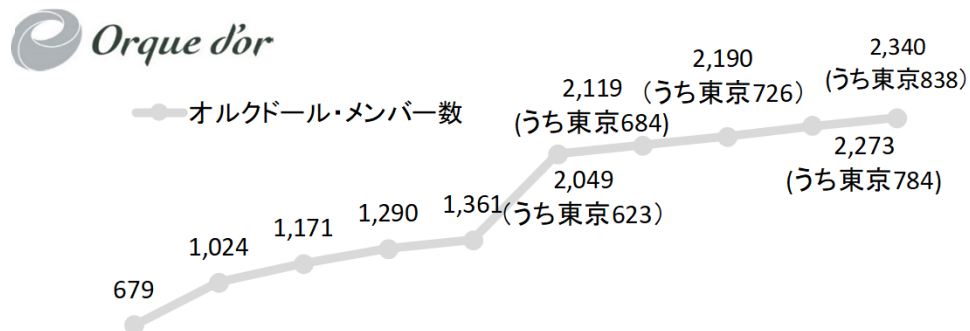
※セグメント定義の未稼働は半年間の手数料10万円未満

※稼働口座増減率の稼働とは手数料1円以上

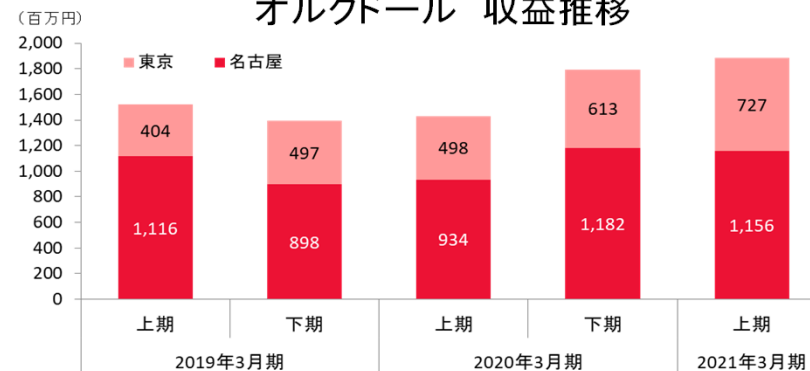
II. 収益構造の変化と重点プロジェクトの進捗

2. 富裕層ビジネスの拡大

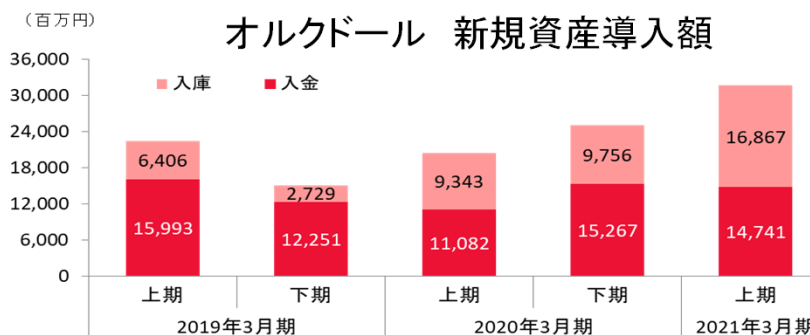
《オルクドールメンバー数・預かり資産》



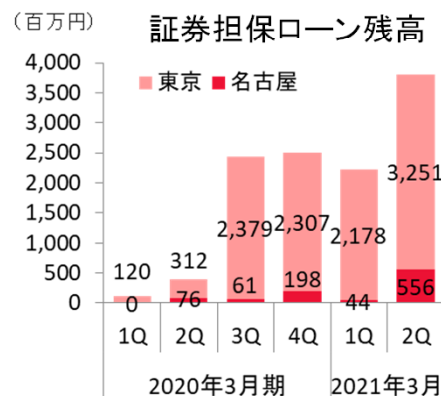
オルクドール 収益推移



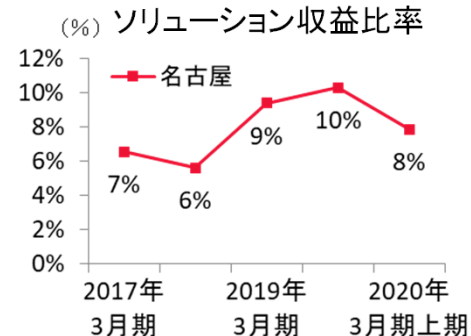
オルクドール 新規資産導入額



オルクドール 証券担保ローン残高

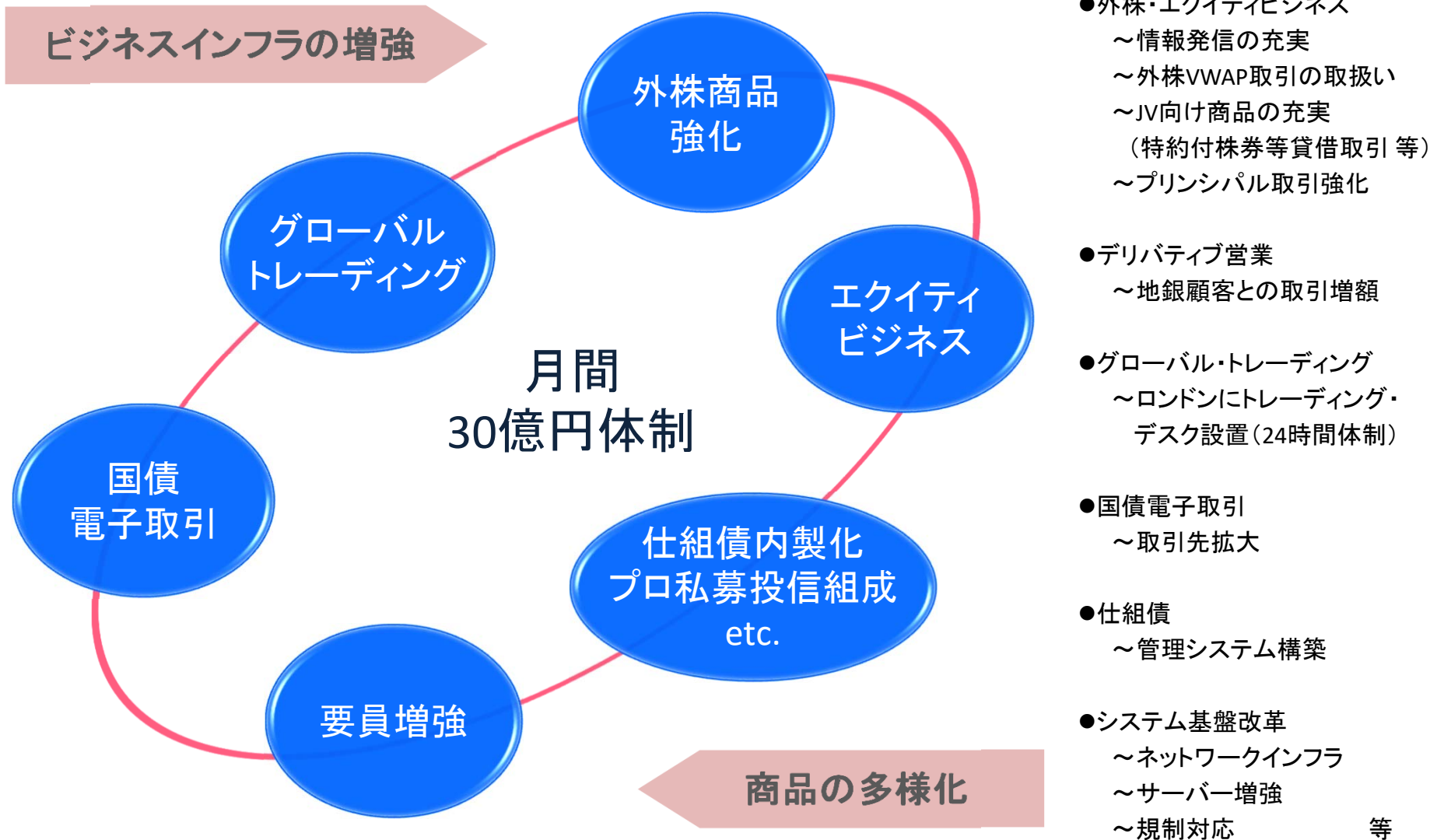


(ご参考) ウェルスマネジメントカンパニー ソリューション収益比率



II. 収益構造の変化と重点プロジェクトの進捗

3. マーケット部門の進捗

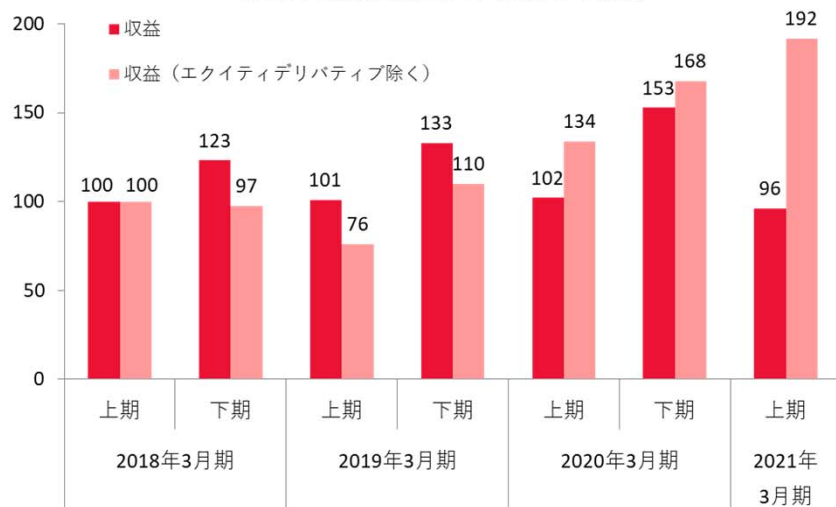


II. 収益構造の変化と重点プロジェクトの進捗

3. マーケット部門の進捗

機関投資家営業部&エクイティ部収益

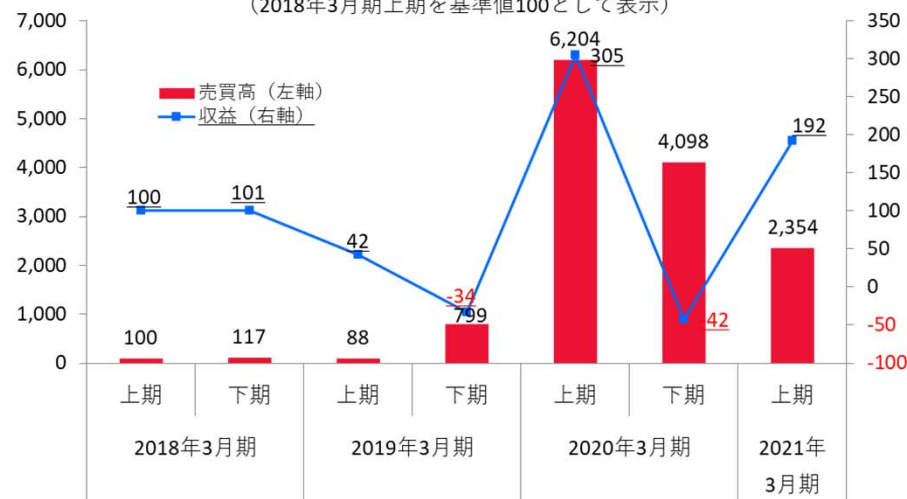
(2018年3月期上期を基準値100として表示)



株式ブロックバスケット取引

(2018年3月期上期を基準値100として表示)

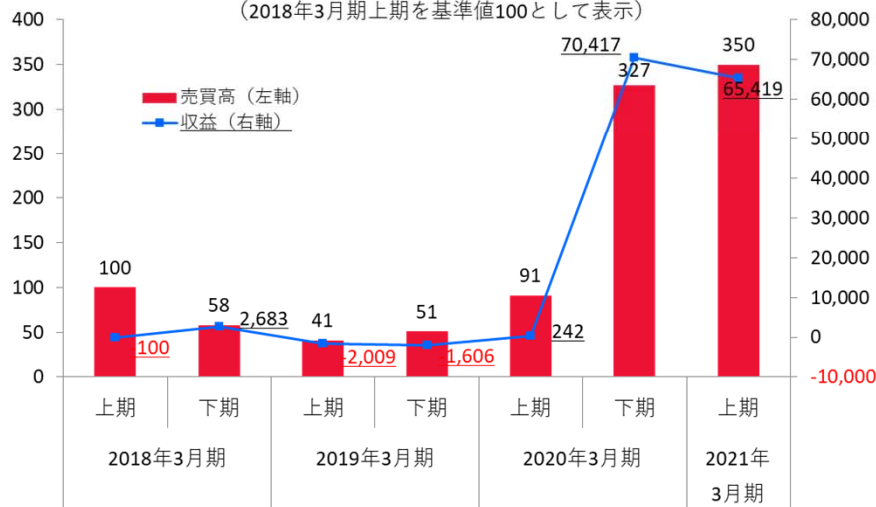
(同左)



株式インデックス取引

(2018年3月期上期を基準値100として表示)

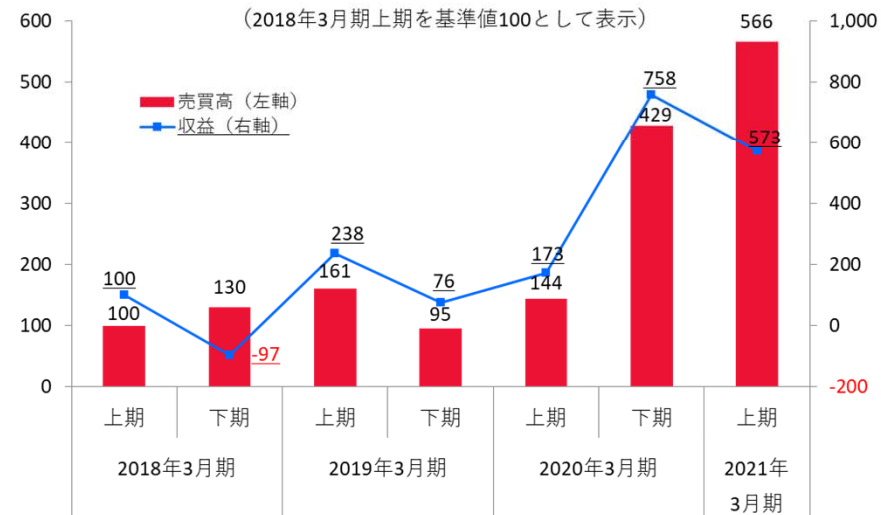
(同左)



株式VWAP取引

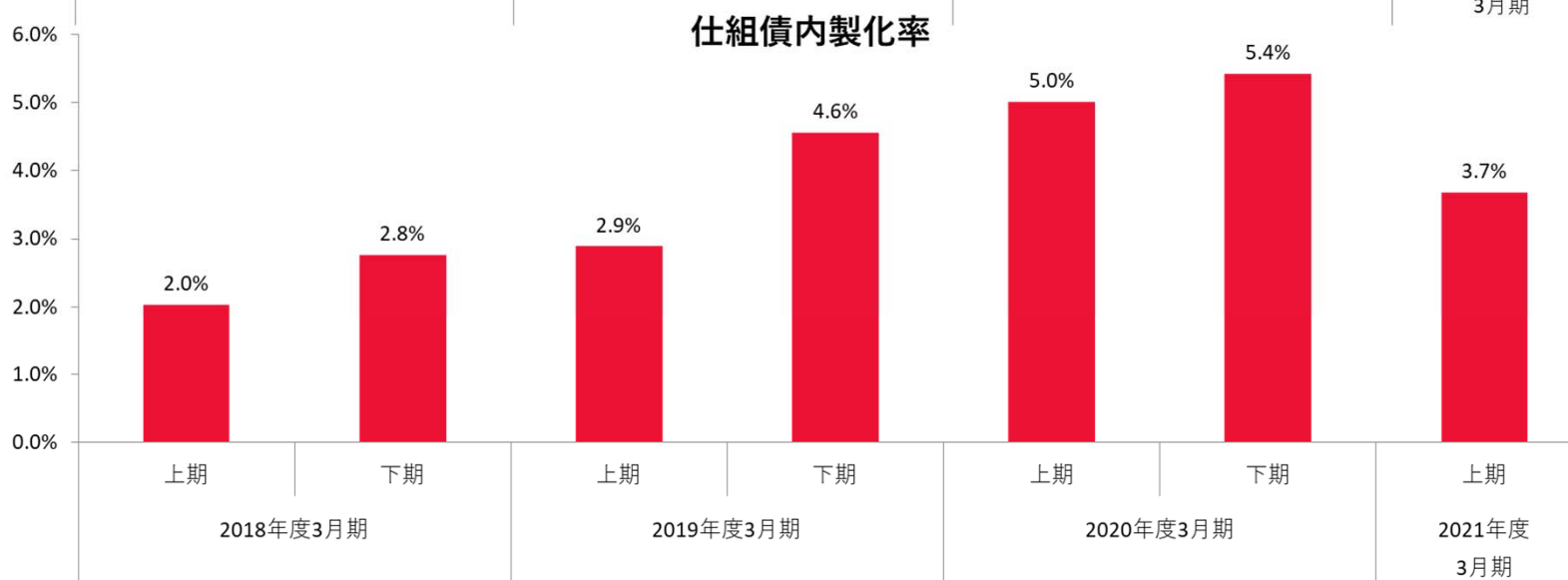
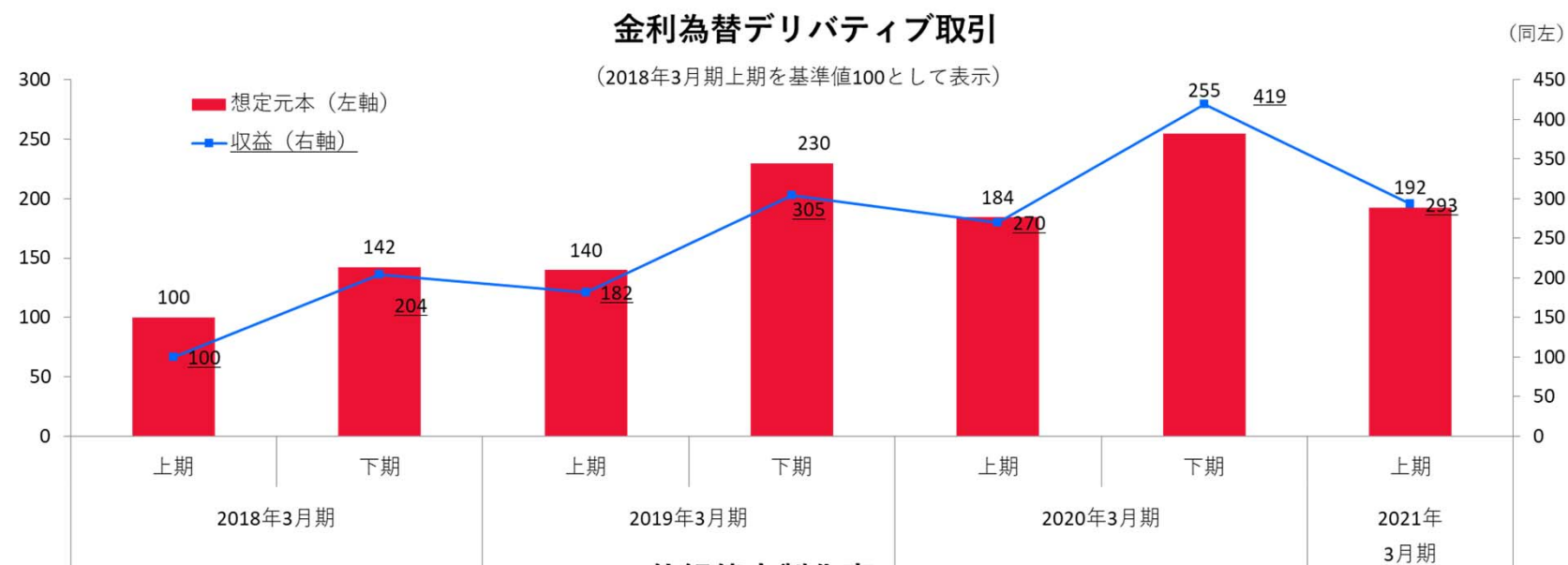
(2018年3月期上期を基準値100として表示)

(同左)



II. 収益構造の変化と重点プロジェクトの進捗

3. マーケット部門の進捗



II. 収益構造の変化と重点プロジェクトの進捗

4. 提携合併証券(JV)

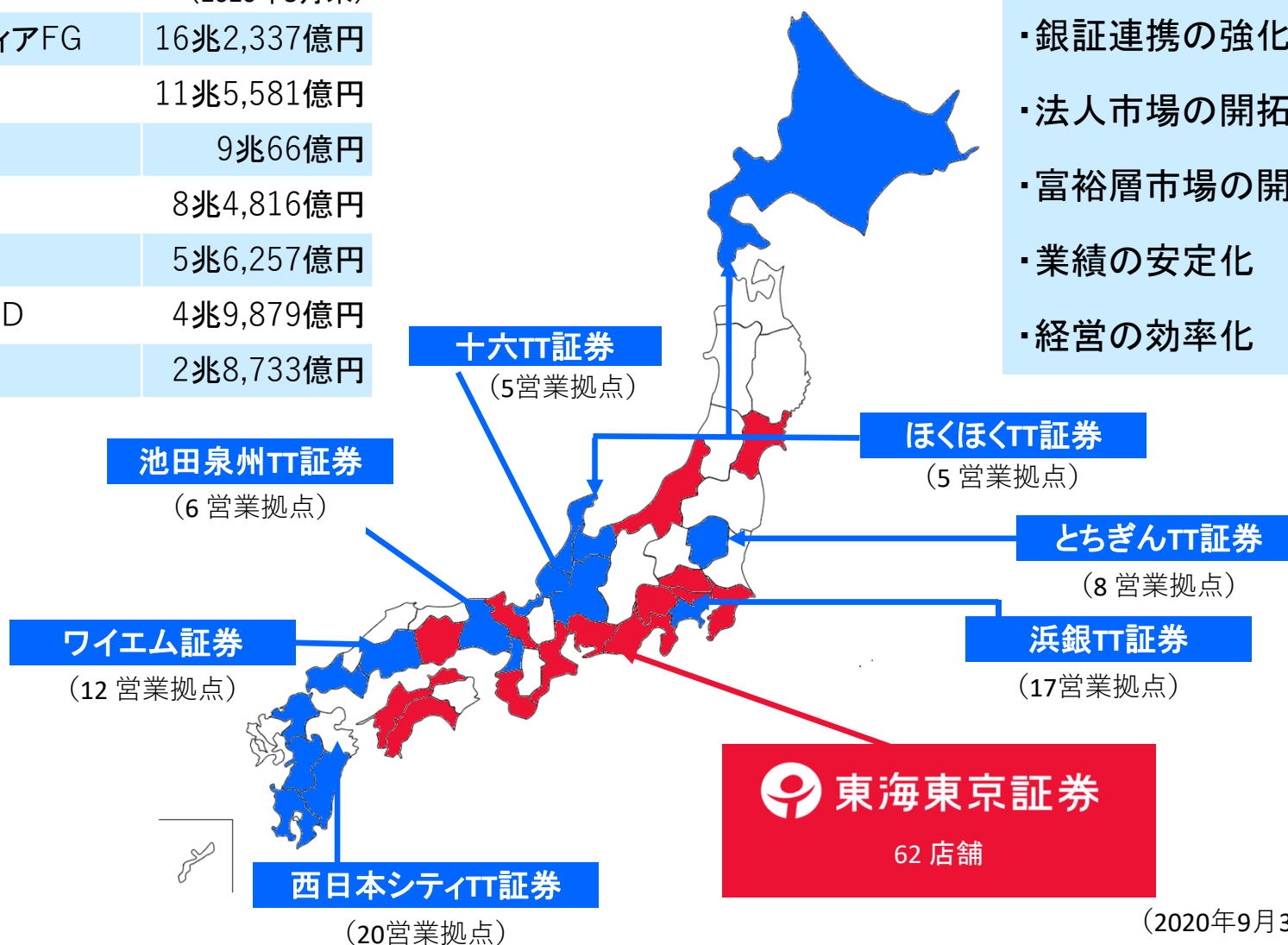
提携地方銀行の預金量

(2020年3月末)

コンコルディアFG	16兆2,337億円
ほくほくFG	11兆5,581億円
山口FG	9兆66億円
西日本FH	8兆4,816億円
十六銀行	5兆6,257億円
池田泉州HD	4兆9,879億円
栃木銀行	2兆8,733億円

JVの今後の業務ポイント

- ・銀証連携の強化
- ・法人市場の開拓
- ・富裕層市場の開拓
- ・業績の安定化
- ・経営の効率化

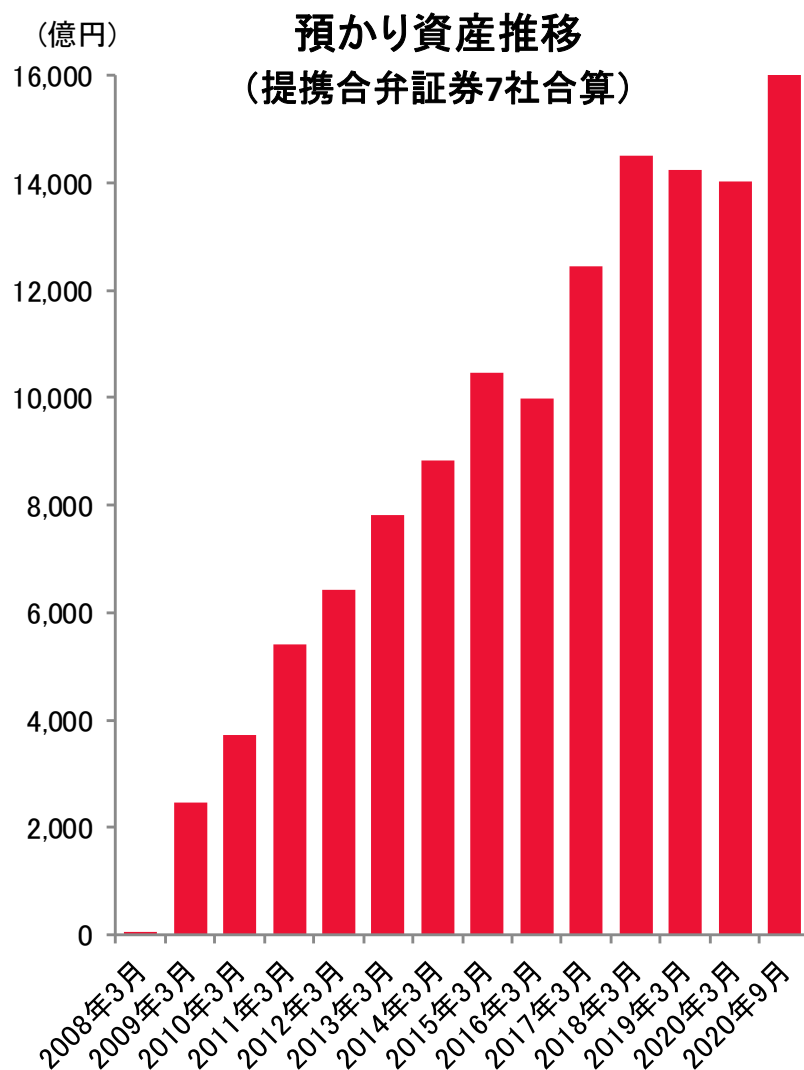


(2020年9月30日現在)

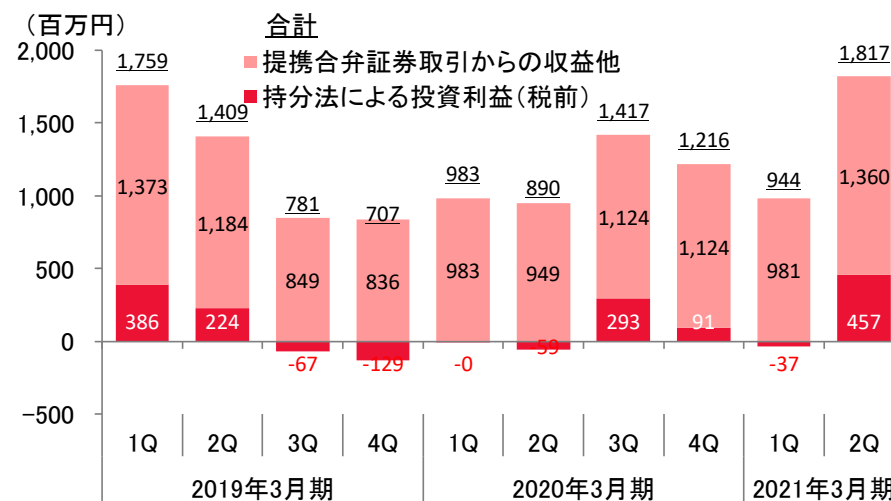
II. 収益構造の変化と重点プロジェクトの進捗

4. 提携合併証券(JV)

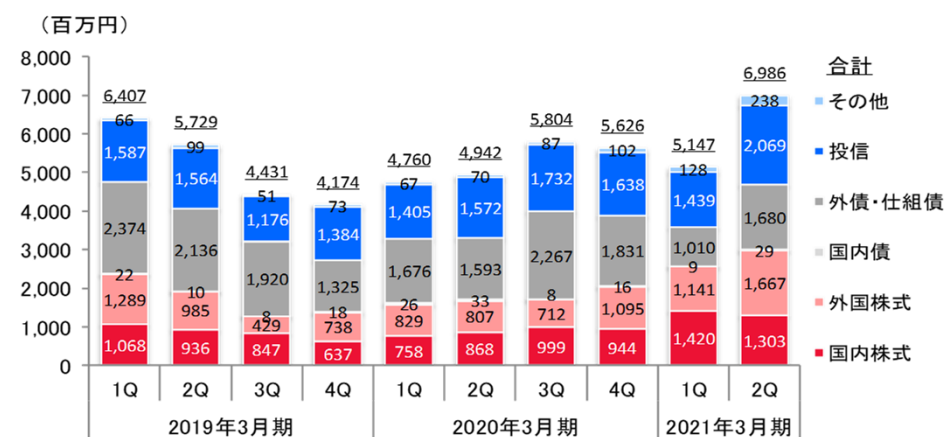
《地方銀行との提携合併証券(JV)》



連結利益への貢献

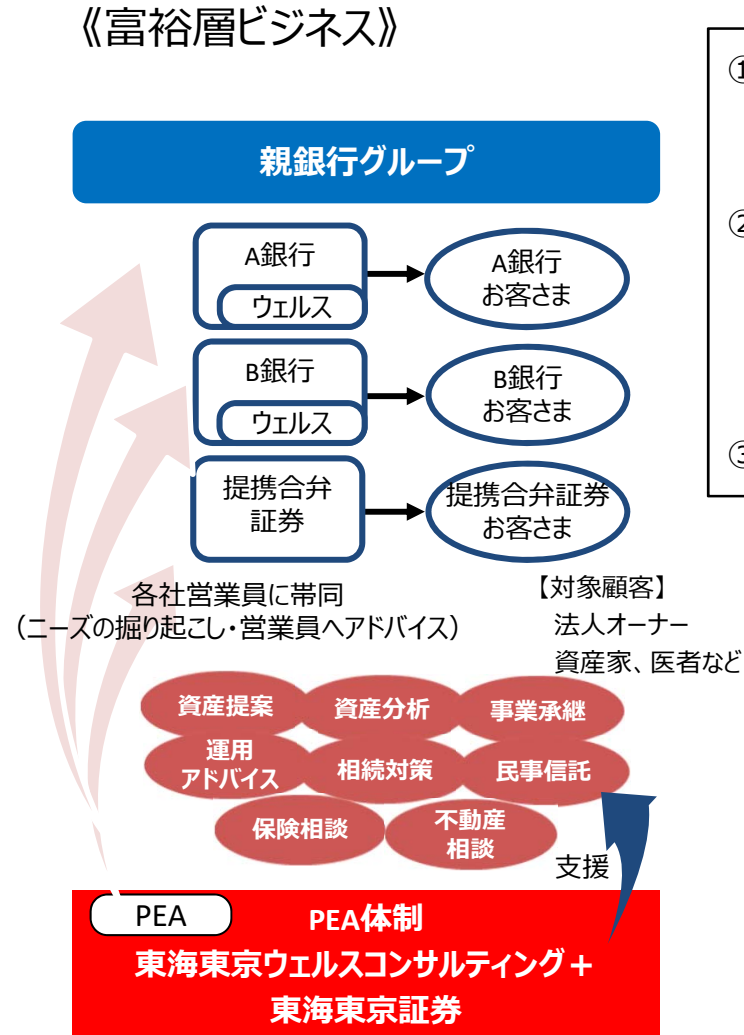
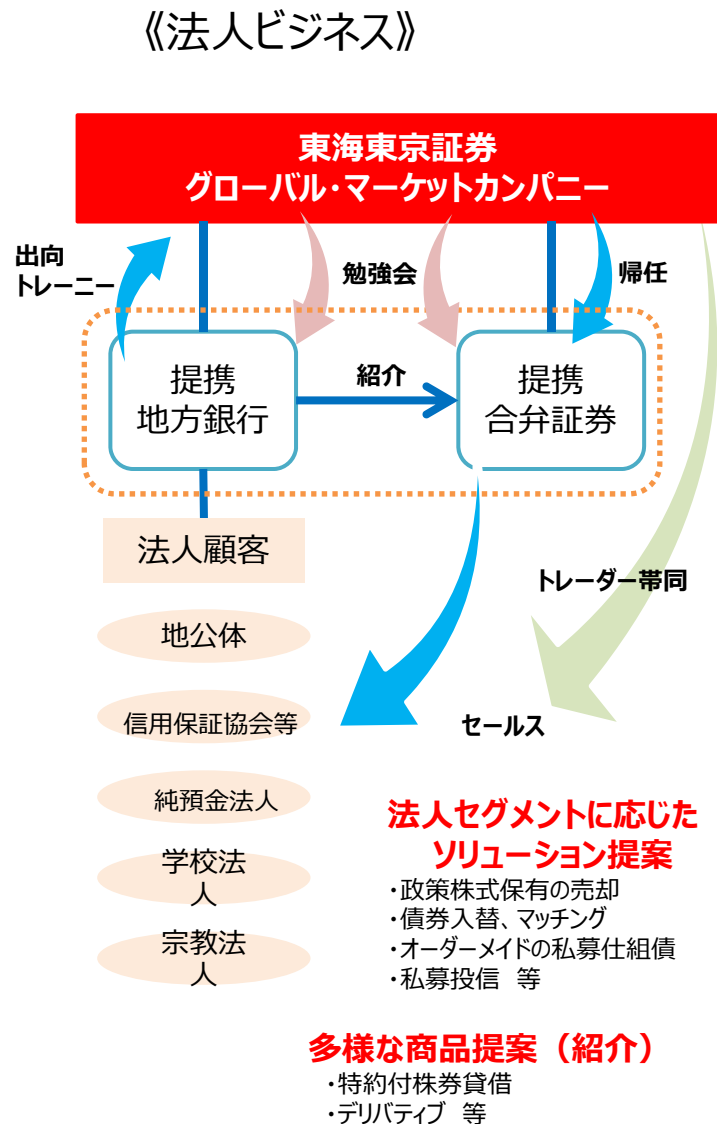


商品別収益推移(提携合併証券7社合算)



II. 収益構造の変化と重点プロジェクトの進捗

4. 提携合併証券(JV)

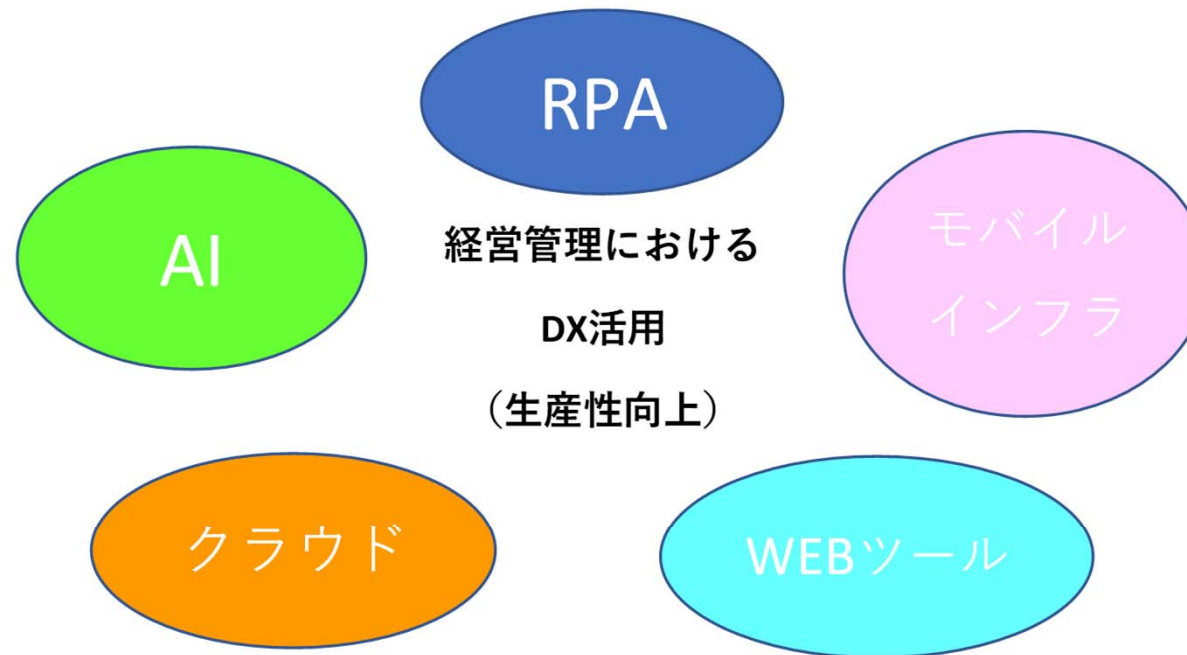


- ①法人市場の深耕
 - ・トレーニー受入
 - ・JV・地銀との連携強化
- ②富裕層市場
 - ・マーケティングセミナー
 - ・PEA（富裕層ビジネス専門家）の派遣、帯同訪問
- ③ファンドラップの導入促進

II. 収益構造の変化と重点プロジェクトの進捗

5. 生産性革命

《経営管理の高度化に向けた取り組み》



(ご参考)RPA、BPRによる労働時間削減 ～東海東京証券 ノンプロフィット部門～

前提：2018年上期時点の総業務量を起点として、上記による時間削減実績を計測

(単位：時間)

	2018年度下期	2019年度上期	2019年度下期	2020年度上期
削減時間数	37,856	27,780	25,042	26,389

II. 収益構造の変化と重点プロジェクトの進捗

6. SDGsへの取り組み

健康

- ・健康経営（CHO・健康経営推進協議会の設置）
- ・社員の健康支援
（歩数計アプリを利用したウォーキング促進活動の実施等）

教育

- ・名古屋、東京の4大学への寄付講座
- ・MBA取得制度（国内外MBAへの派遣）
- ・東海東京財団を通じた高校生海外派遣助成

エネルギー・気候

- ・グリーンボンド発行支援者
- ・社会貢献型債券の取扱い（グリーンボンド、ウォーターボンド）
- ・高効率照明、高効率空調への切替
- ・低燃費車への入替

地域

- ・有力地方銀行との連携強化による地方創生
- ・災害支援活動
- ・スポーツ支援
- ・文化、芸術活動への協賛
- ・東海東京財団を通じた祭礼行事伝承助成



働きがい

- ・育児と介護の支援「Good Life Balance Menu」
- ・「Humanity Enhancement Program」の導入
- ・社内公募制度

ジェンダー

- ・女性活躍推進
- ・ロールモデルの任命、活動

パートナーシップ

- ・M&A仲介機能の強化
- ・こどものみらい古本基金
- ・株主優待SDGs基金への寄付
- ・フードバンク活動に参画

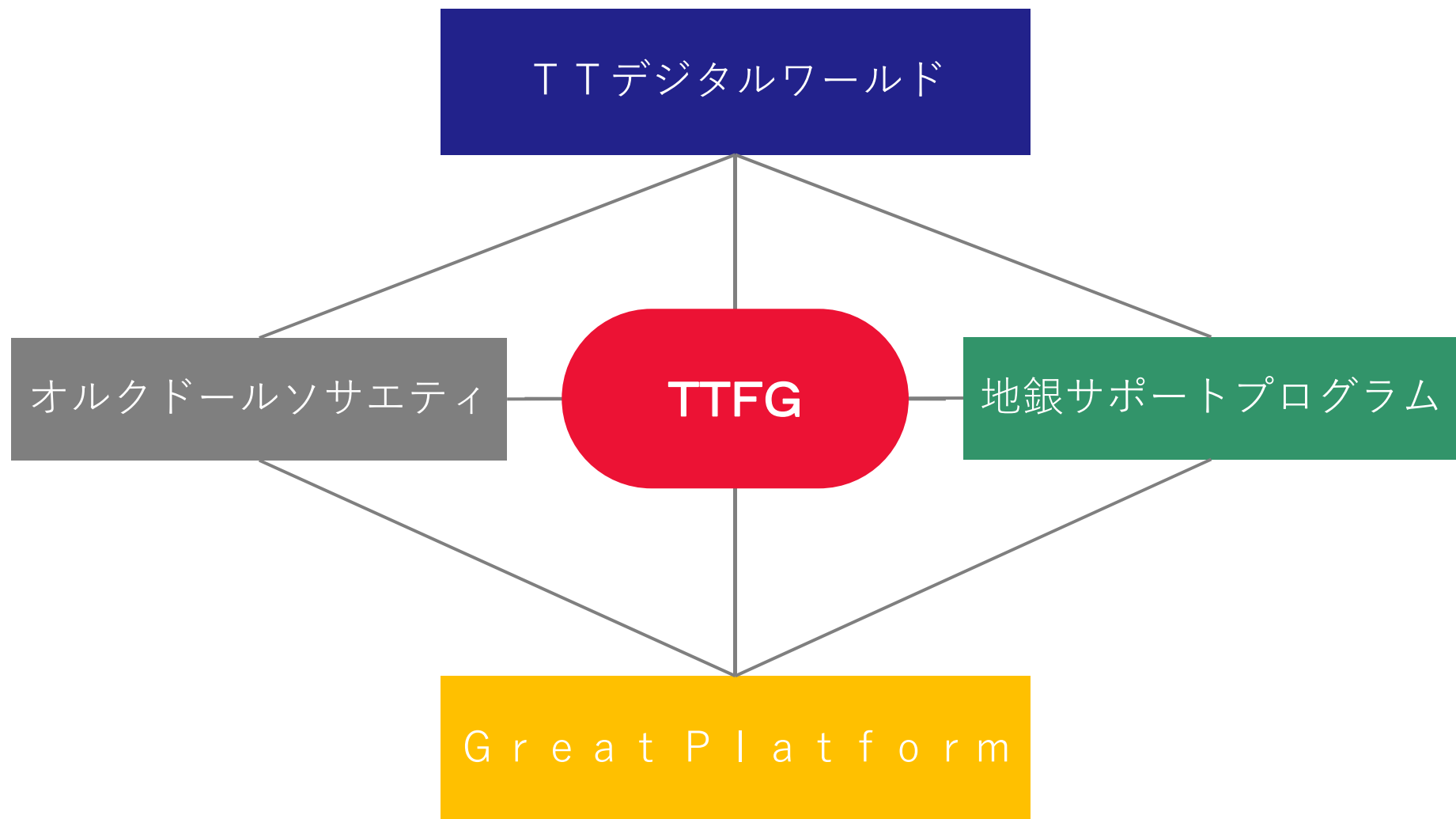
産業と技術革新

- ・資産管理アプリ「おかねのコンパス」
- ・「証券担保ローン」サービス
- ・「DX注目企業2020」に選定

III. 未来戦略の推進

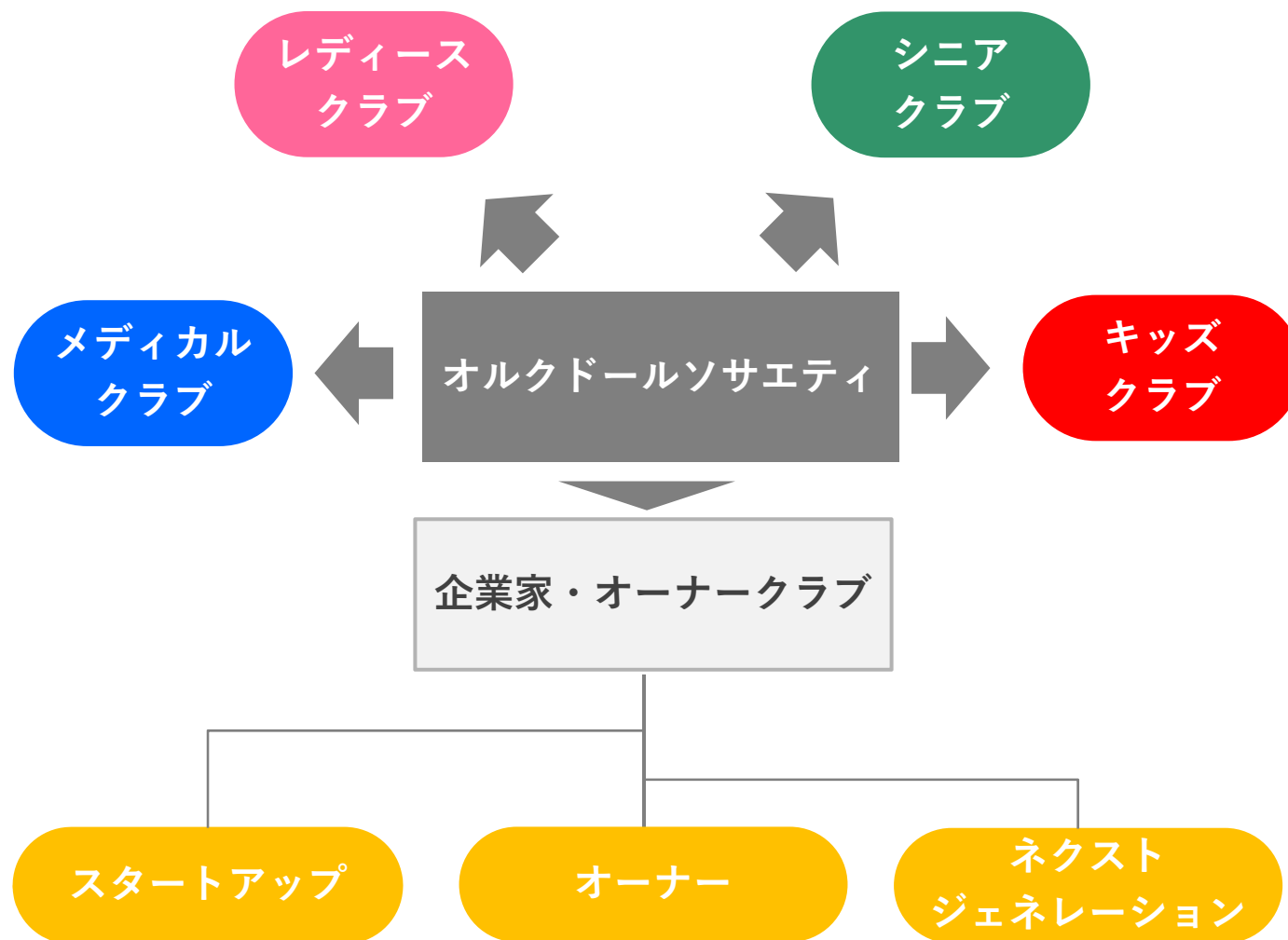
III. 未来戦略の推進

1. 重要未来戦略分野



III. 未来戦略の推進

2. オルクドールソサエティ

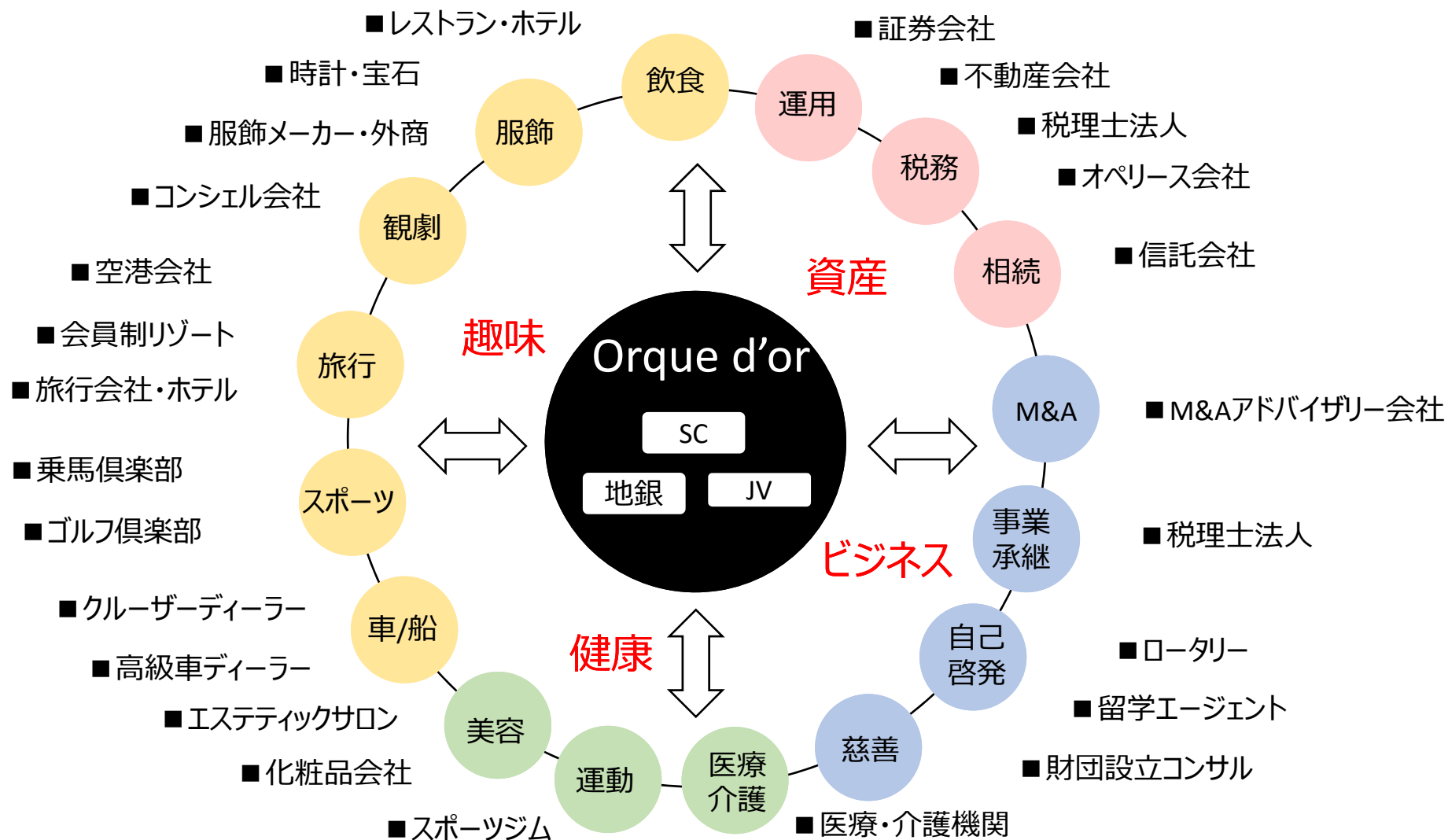


- ✓ 金融指南
- ✓ 投資紹介
- ✓ 資金調達プラン
- ✓ 交流ネットワーク
- ✓ 専門知見
- ✓ 情報提供
- ✓ 豊かなライフプランニング
- ✓ オルクドールエコシステム

III. 未来戦略の推進

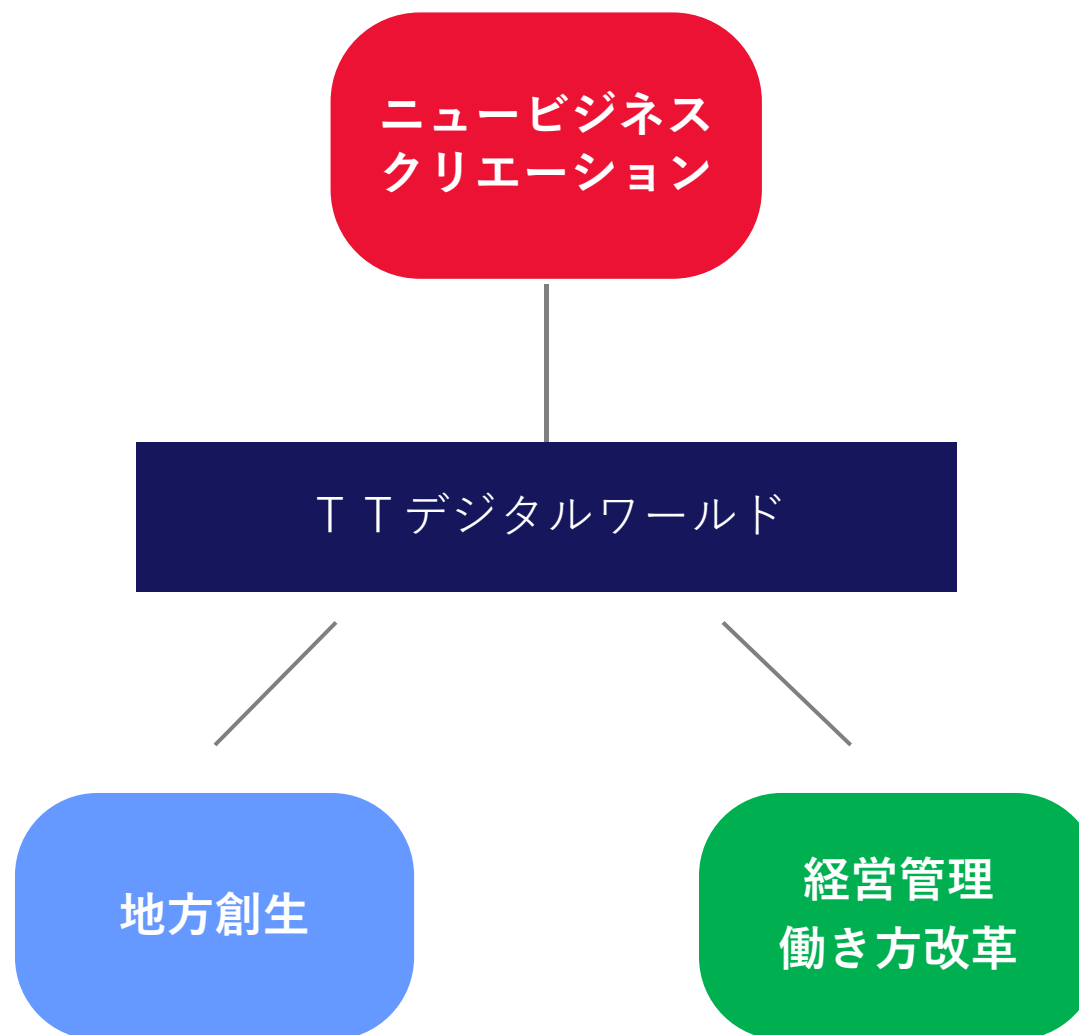
2. オルクドールソサエティ/オルクドールエコシステム

富裕層の関心事である「資産」「ビジネス」「健康」「趣味」に関連する富裕層ビジネス企業と連携しエコシステム構築



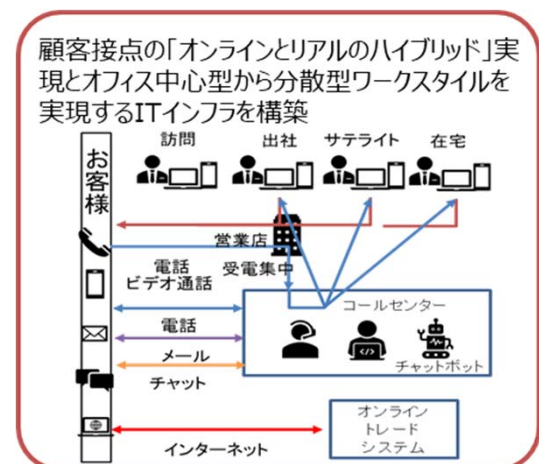
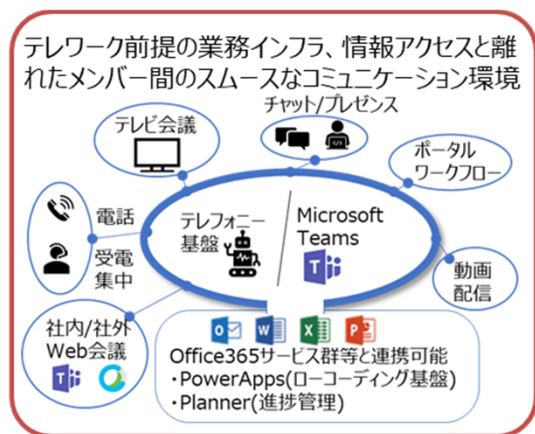
III. 未来戦略の推進

3. TTデジタルワールド



III. 未来戦略の推進

3. TTデジタルワールド



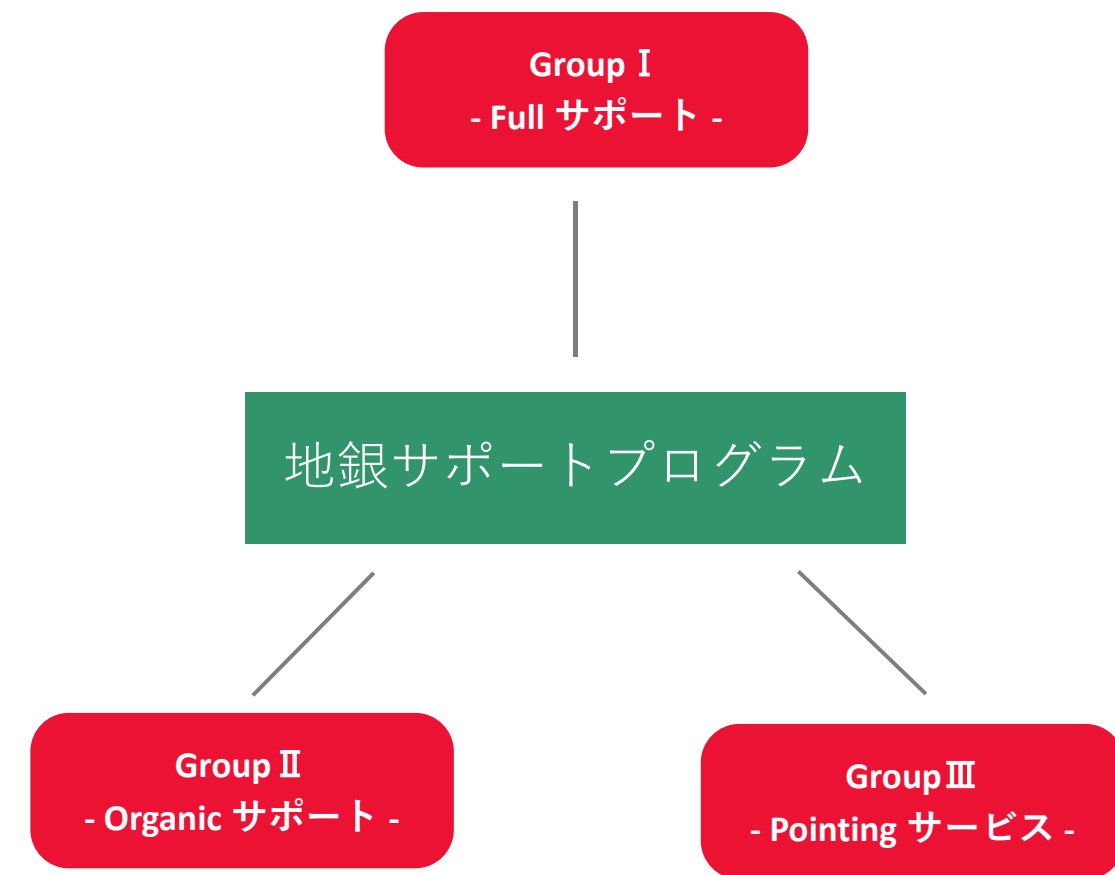
III. 未来戦略の推進

3. TTデジタルワールド



III. 未来戦略の推進

4. 地銀サポートプログラム

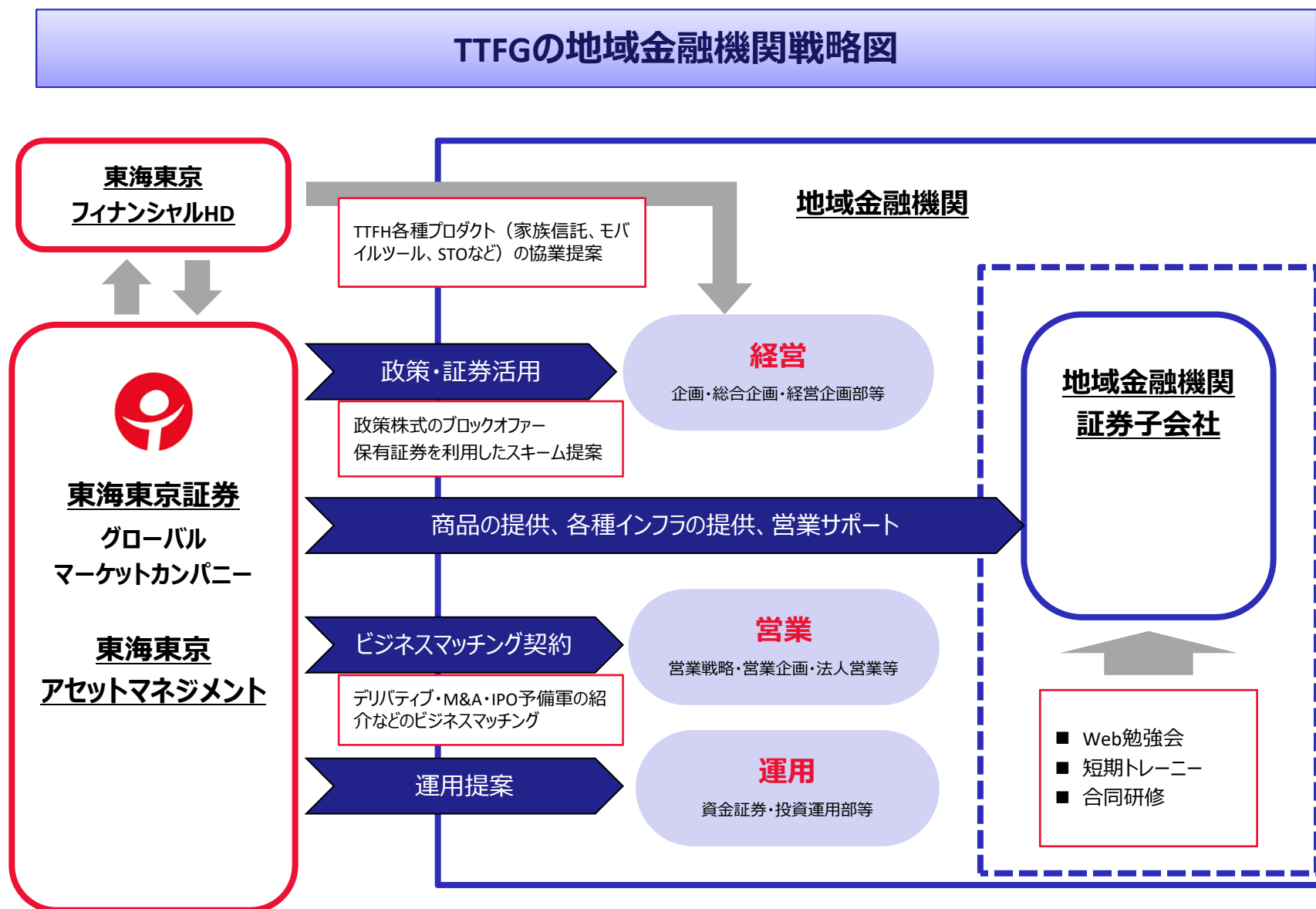


- Group I : 合併証券会社と親銀行グループ
 Group II : 証券子会社保有銀行グループ
 Group III : 証券子会社を保有していない銀行グループ

項目	I	II	III
証券 (JV、IFA)	◎	○	○
法人ビジネス (資金運用、デリバティブ)	◎	◎	◎
資産運用 (有価証券運用、リスク管理)	○	○	◎
富裕層 (PEA)	◎	◎	○
Fintech (スマホ証券、お金のコンパス等)	○	○	○
地方創生 (地域通貨、STO)	○	○	○
保険	○	○	○
事業承継	○	○	○
教育・人材	◎	◎	—
コンプラ、内部管理	◎	◎	—
マーケティング手法 (データベース、セグメンテーション)	◎	○	—
民事信託	◎	◎	◎
情報・分析	◎	◎	○
企業金融 (IPO等)	◎	◎	◎

III. 未来戦略の推進

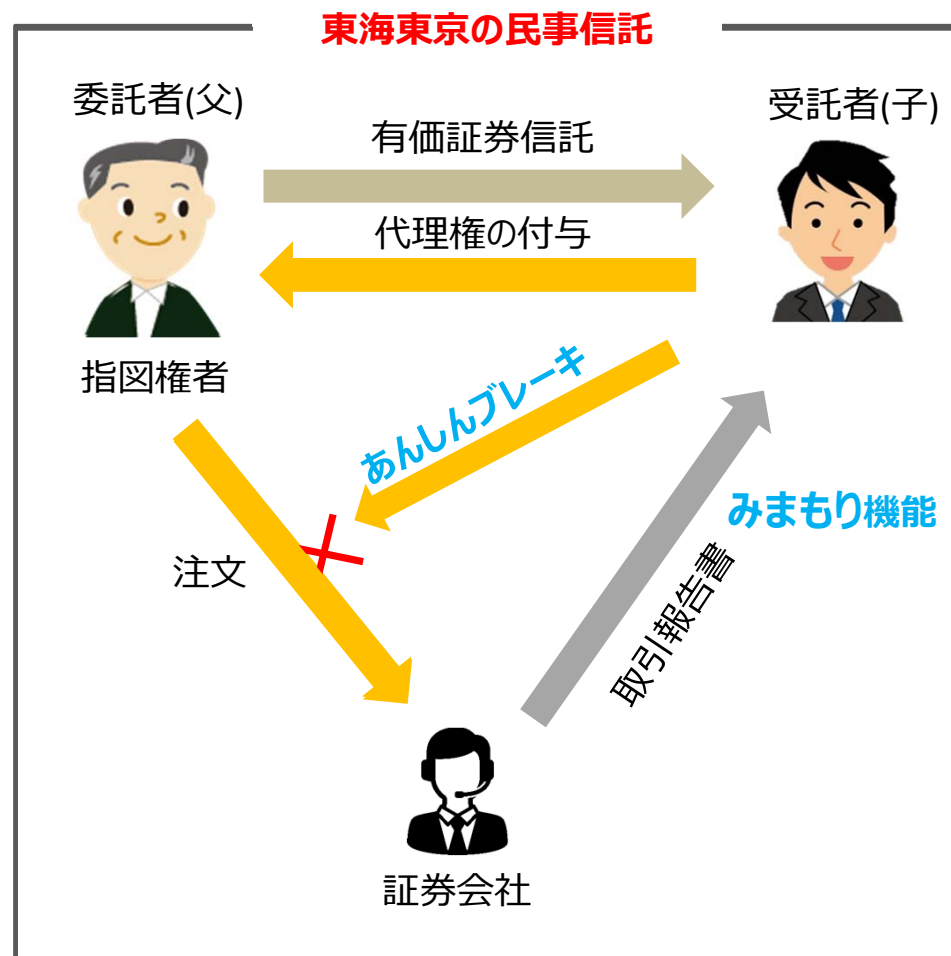
4. デリバティブ営業を軸とした地銀とのリレーション強化と収益拡大への取り組み



III. 未来戦略の推進

4. 民事信託

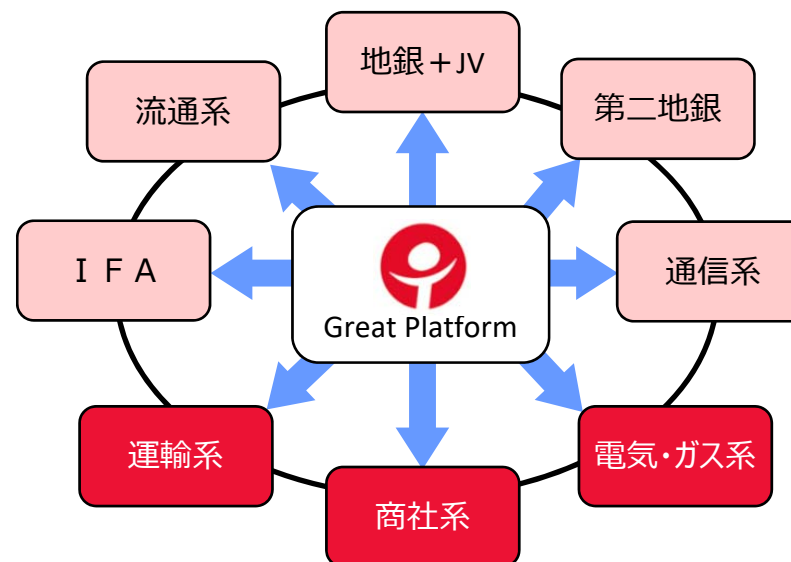
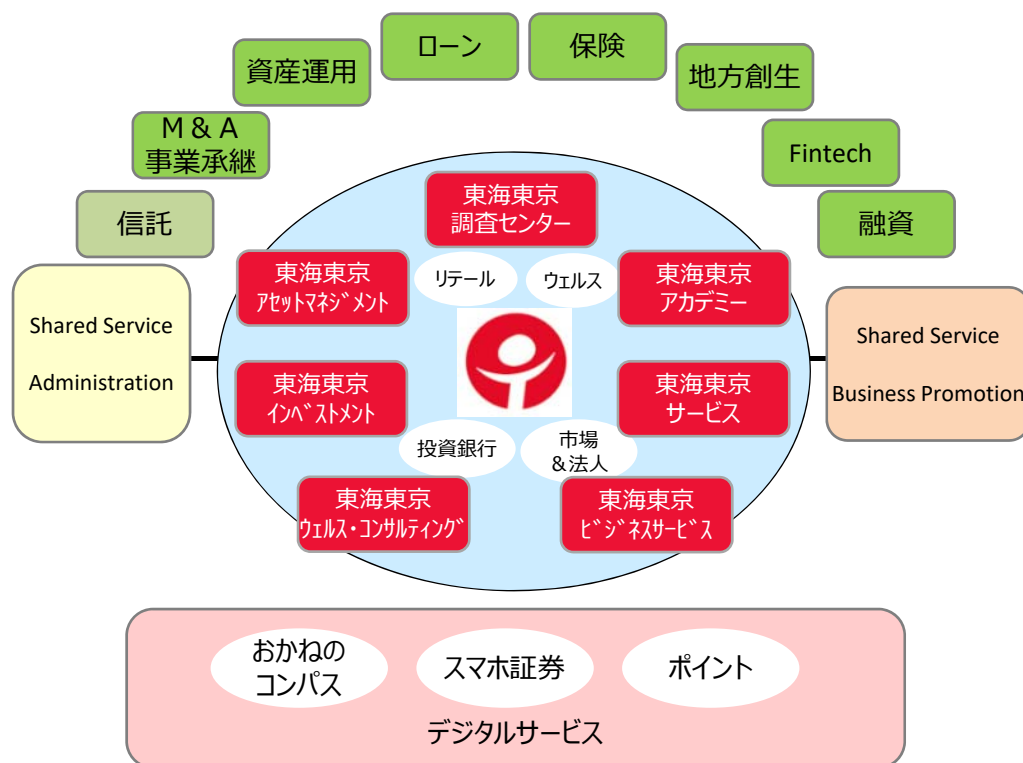
- 高齢者の認知症等対策として、
- ・信託契約後も委託者が信託財産である有価証券の運用を可能とする「代理権の付与」
- ・万が一の場合には受託者がブレーキを掛けられる仕組みを導入 **※特許出願中**



III. 未来戦略の推進

5. グレート・プラットフォーム

グレート・プラットフォーム システム

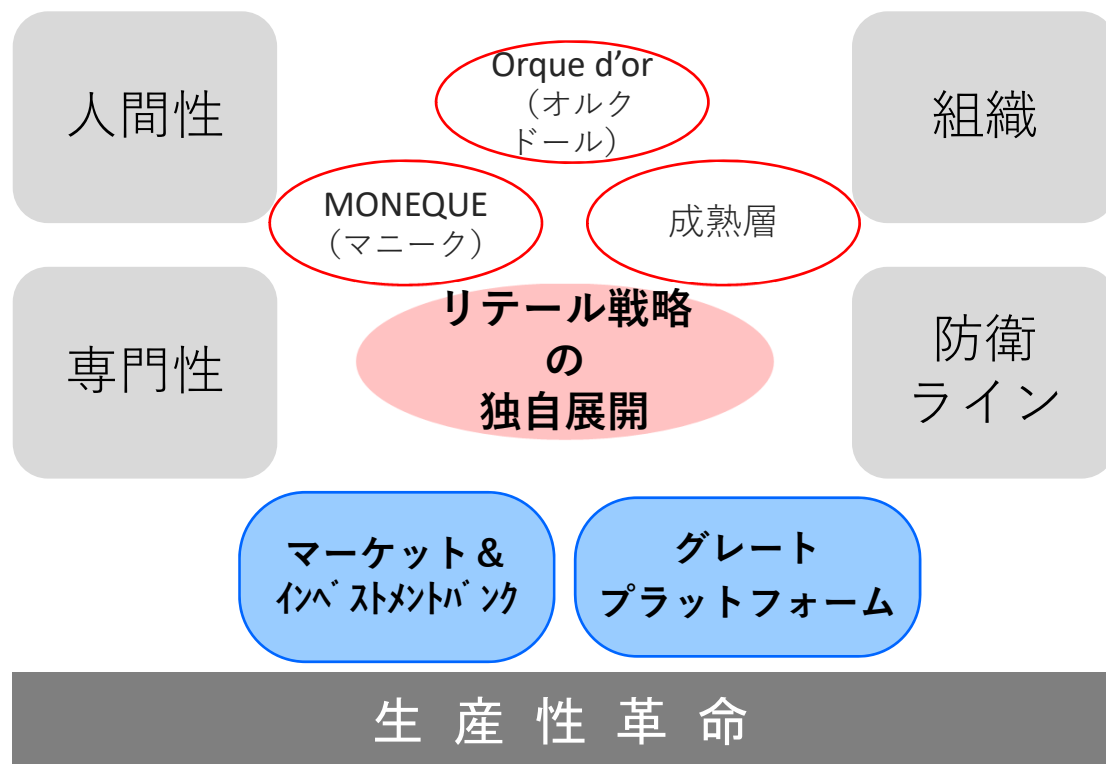


III. 未来戦略の推進

6. 経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」全体像

「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

更なる経営基盤の強化と成長



戦略テーマの追求



東海東京フィナンシャル・グループ誕生20周年



2020年10月、東海東京フィナンシャル・グループの中核子会社である東海東京証券は東京証券と東海丸万証券の合併を経て誕生20周年を迎えました。これを機に、コーポレートスローガン『未来をつなぐ、心をむすぶ。』の制定を行いました。

コーポレートスローガンは当社が進める地方銀行との新しい連携や、あらゆるノウハウの柔軟な連携での未来の金融業界をリードしつつ、お客さまとの信頼の絆を大切にする姿勢を表現しています。

20周年

未来をつなぐ、心をむすぶ。

MEMO

問合せ先

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社
広報・IR室

TEL: 03-3517-8618 FAX: 03-3517-8314

E-mail: fh_ir@tokaitokyo-fh.jp

本資料は、最新の業績に関する情報の提供を目的とするためのものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。